

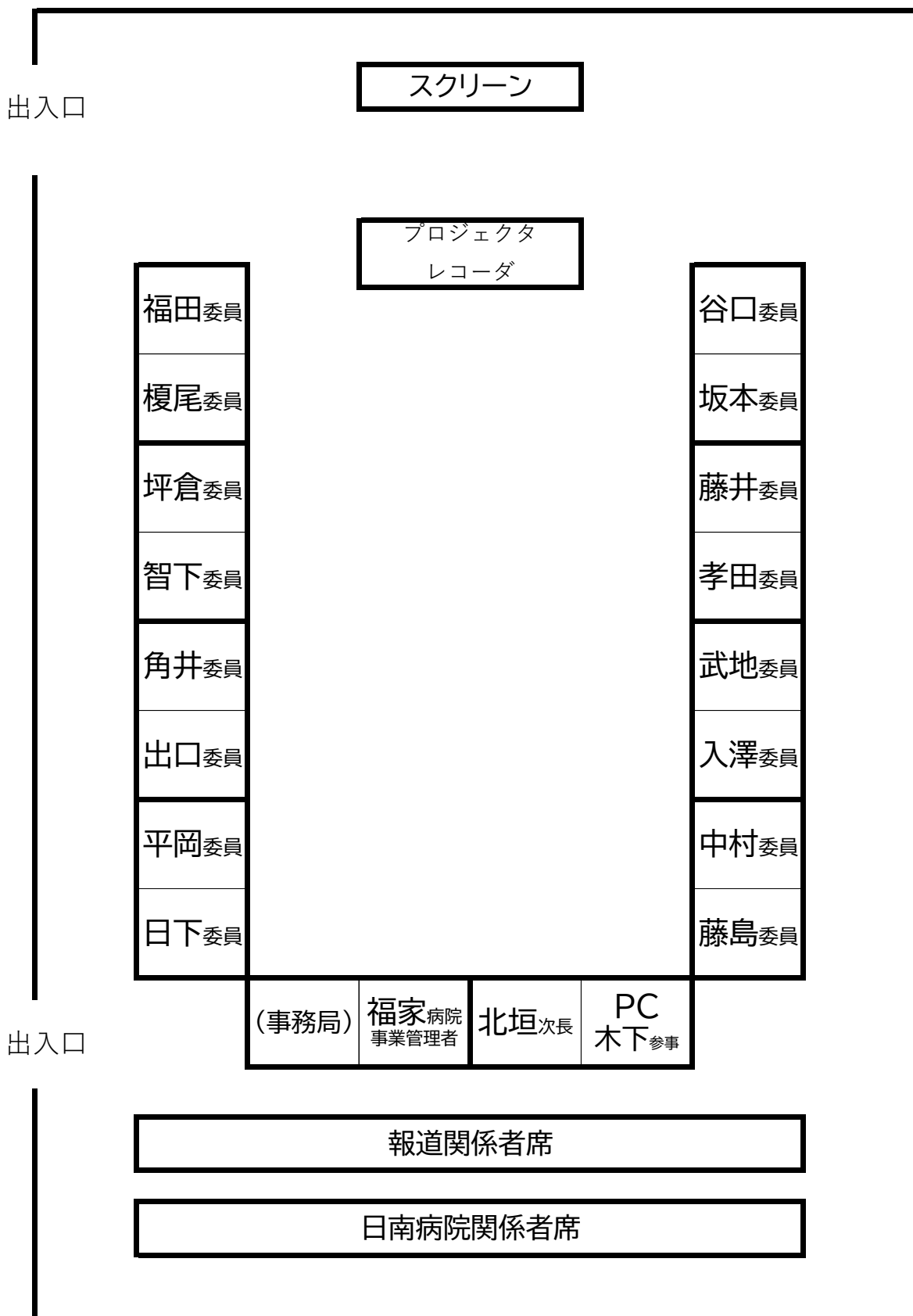
第2回 日南病院あり方検討委員会 次第

日時 令和5年7月25日(火) 17:00～

場所 日南町健康福祉センター 研修室

1. 開会
2. 委員長挨拶(谷口委員長)
3. 前回(第1回)委員会の振り返りとその対応について(事務局)
4. 検討事項「病院の現状と問題点」
5. 次回開催日について 令和5年 月 日()
6. 閉会(19時終了予定)

日南病院あり方検討委員会 席次表



日南病院あり方検討委員会 委員一覧

(敬称略)

No.	所属	役職名	氏名	区分
1	鳥取大学医学部	地域医療学講座教授	谷口 晋一	識医
2	鳥取県福祉保健部	健康医療局長	坂本 裕子	識
3	鳥取県西部総合事務所	米子保健所長	藤井 秀樹	識医
4	日野病院組合日野病院	病院長	孝田 雅彦	医
5	鳥取県西部医師会	代議員(日野郡)	武地 幹夫	医
6	社会福祉法人 日南福社会	事業統括部長	入澤 良子	福祉
7	日南町社会福祉協議会	会長	中村 秀人	福祉
8	日南町民生児童委員協議会	副会長	藤島 美鈴	福祉
9	日南町商工会	会長	福田 一哉	町民
10	日南町自治協議会	会長	榎尾 稔正	町民
11	町民代表		坪倉 幸徳	町民
12	町民代表		智下えり子	町民
13	日南町	副町長	角井 学	行政
14	日南町 福祉保健課	課長	出口 真理	行政
15	日南町国民健康保険日南病院	副院長(病院長代行)	平岡 裕	病院
16	日南町国民健康保険日南病院	看護部長	日下美恵子	病院

事務局

	日南病院	病院事業管理者	福家 寿樹	
	同 上	事務部 次長	北垣 祐輔	
	同 上	事務部 参事	木下 順久ほか病院職員	

委員会のあり方に関するもの

- 1 日南病院の特徴を明らかにし、「らしさ」を活かせる議論を
→方針)院内検討チームを立ち上げ、SWOT分析を実施、結果
を委員会で議論していきます(8月予定)
- 2 住民が何を病院に求めているか明確にしたうえで取捨選択を
→方針)住民全世帯アンケートを実施し、結果を委員会で議論
していきます(8月予定)
- 3 将来的な医師招へい方針(病院機能の継続条件)を示す必要
→方針)常勤の総合診療医の招へいを最優先課題にし、専門科
診療は大学、近隣病院、日野郡内町村等との連携を進め
医療の質を確保できる病院を目指します

いただいた質問

Q1 要介護ニーズに対して何故「療養病床」を選択したのか

→当初の老健計画が、西部圏域の枠不足で療養病床となった

Q2 一般病床と療養病床の現状及び将来的な使い分け

→
・急性・回復・慢性の段階に応じたベッドコントロールを効率的に行う
・療養病床は要医学管理、短期対応、一部の冬季ニーズ対応等とする
・軽度な要介護の方、今後増加する冬季在宅困難者への対応は全町的課題として町・日野郡単位で検討していく

Q3 日南町の歯科医療の今後をどう考えるのか

→
・歯科医院と存続及び連携について両方で協議を始めている
・住民の口腔機能の向上について歯科医院、行政との更なる連携が必要と感じており今後検討を進める

第1回 委員会を終えて 委員からの意見・質問 3/7

いただいた質問・ご意見(資料に関するもの)

- 1 国保の外来患者の半数近くが米子の病院を受診している？
→ 仕事先や土・日曜日、また専門外来など、米子の個人病院等の利用は多いのが実態、後期高齢になると日南病院受診が増加
- 2 町民の受療動向数値は、実患者数ベースでの見方も必要か
→ 延べ患者数のほかに実患者ベースでのグラフを作成しました
- 3 町民の受療動向数値は、受診医療機関ごと診療科や主な疾患が見えてくると現状の把握ができる
→ 日南病院の科別・疾病別受診状況をグラフ化しました
→ 町民(国保・後期高齢)の外来受診動向をグラフ化しました
→ 日野・西伯病院への町民の受診科、年齢構成データをグラフ化

第1回 委員会を終えて 委員からの意見・質問 4/7

いただいたご意見(病院のあり方)

- 1 町から病院が無くなるのは困る 将来にわたって持続できる病院づくりを皆で考えたい
- 2 高齢者には日南病院しか選択肢がない、高齢者に優しい病院づくりを
- 3 住民生活をトータルで把握、支援できる病院・医師の存在大切
- 4 住民アンケートで医療・介護ニーズをくみ上げることが大切
- 5 移転改築となると通院環境(公共交通)の困りごと解決も必要
- 6 町民の約1/4が支援を必要としている地域の病院である前提での議論が必要(要介護認定549名、障害認定450名)

いただいたご意見(医療機能)

- 1 歯科・整形外科医療の将来展望・・・高齢者には必須の医療
- 2 ドックの充実など、早期発見・治療につながる医療、若いうちからかかりつけ病院となる取り組みを希望
- 3 オンライン診療など広大な診療圏を効率的にカバーする工夫
- 4 介護療養型の廃止で「介護難民」が出るのではという不安
- 5 「米子に住んでいたら助かったのに」が減らせる早期発見医療
- 6 まず診てほしい、その上で専門外来や大きな病院を紹介する判断をしてほしい

第1回 委員会を終えて 委員からの意見・質問 6/7

いただいたご意見(医療機能) つづき

- 7 総合診療中心の診療体制には賛成、他院との連携が鍵
- 8 若いお母さんから「子供が育てられない環境」という声
- 9 移住者(都市部からの)から日南町の医療機能が不安の声
- 10 昨年町内で生まれた子供10数名、小児医療の町内完結は困難
- 11 出かける医療は継続してほしい(町のコンパクトビレッジ構想)
※人と時間を割く在宅医療を経営度外視で継続する決意が必要

第1回 委員会を終えて 委員からの意見・質問 7/7

谷口委員長 第1回目のおまとめ

- 1 診療科、病床規模、人材配置(医師等)などすべての面において日野郡連携の具体的検討が必要
- 2 小児科があることが子育て世代が暮らし続けることの重要な要素となっているとすれば、日野郡全体の大きな問題
- 3 整形外科・小児科ニーズの高さは現実、しっかりとした総合診療医体制があれば、小児科の一部(鑑別診断や初期治療)、整形外科の大部分(慢性的症状の治療)をカバーし、手術等必要なケースは他の病院に送る連携でニーズへの対応が可能

第1回日南病院あり方検討委員会で

いただいたご意見に基づく資料の追加について

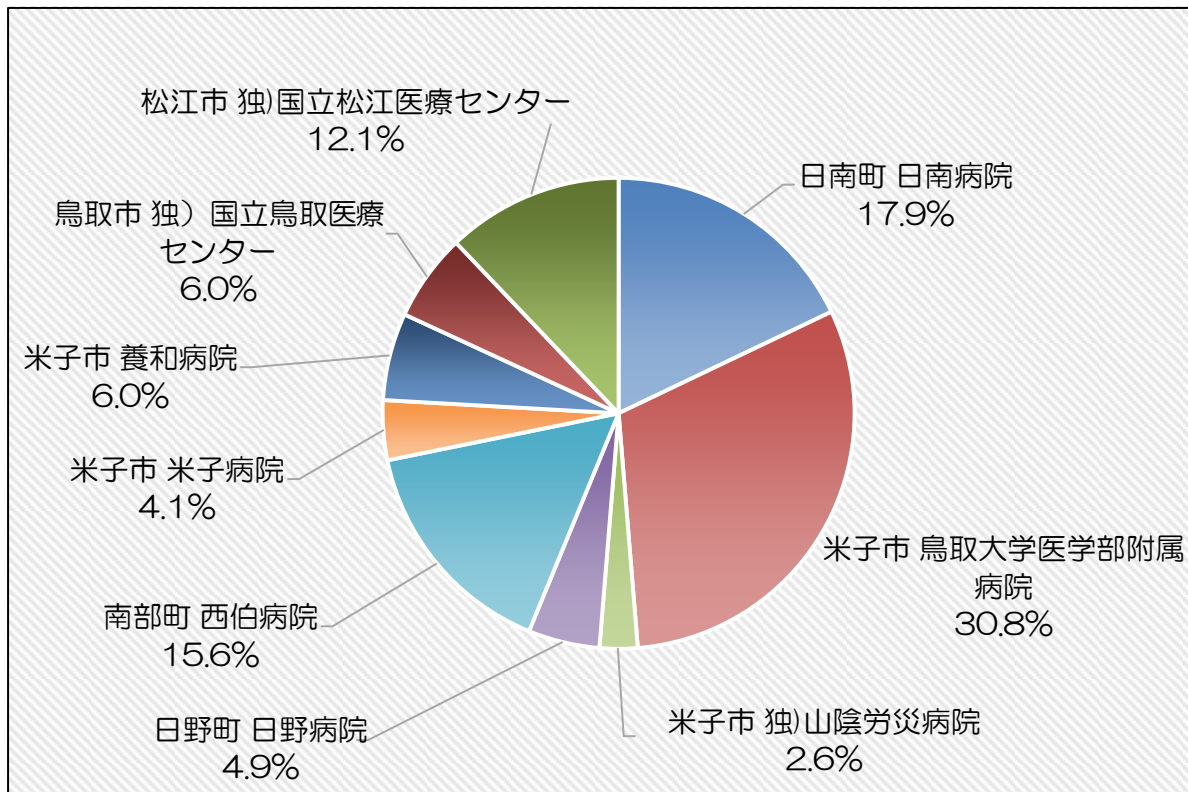
1 日南町国保・後期高齢被保険者の受療動向資料について

- ・延べ患者ベースだけでなく実患者ベースでの見方も必要か
- ・受診医療機関ごとの診療科や疾病分類が見えてくると、町民の受療行動の現状と日南病院にとっての課題が把握できる

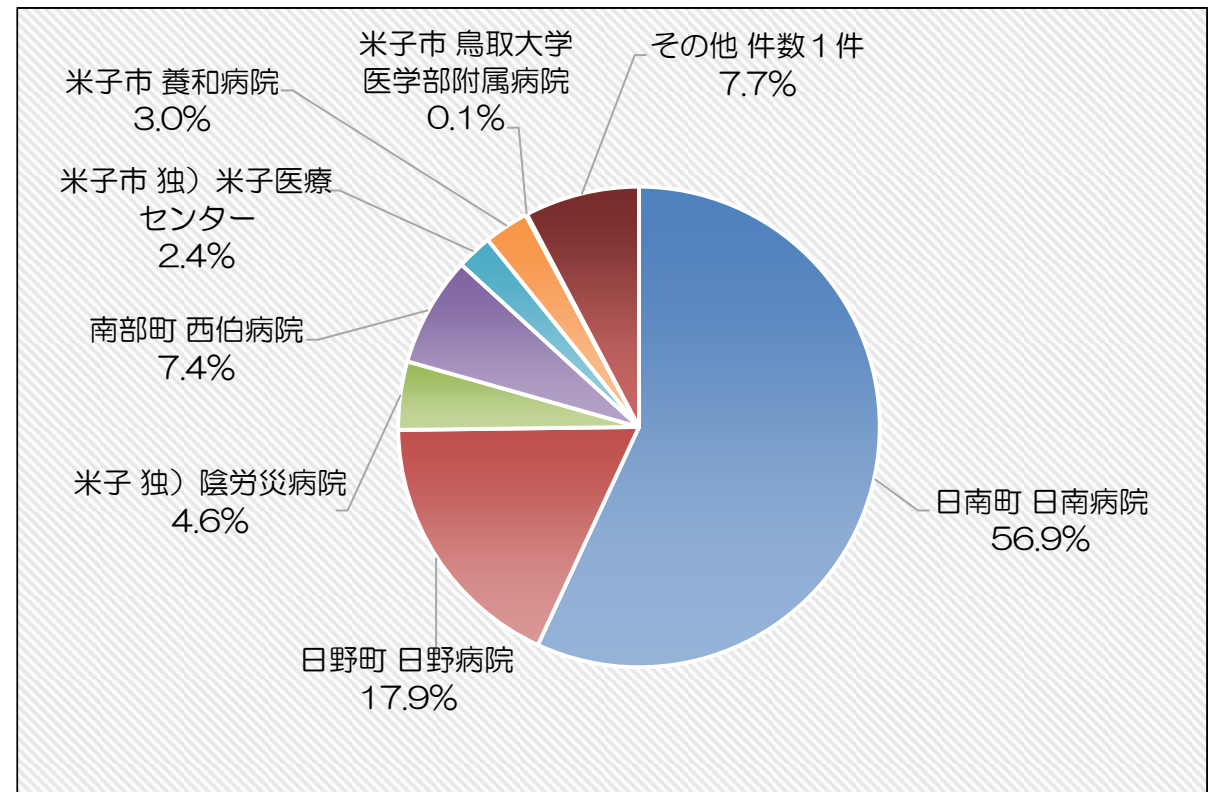
1-25-1. 日南町内の受療動向(入院) 前回資料(延べ患者数)

令和5年1月分の日南町の入院受療動向を構成割合で見ると、国保被保険者の17.9%が当院を受療しているが、近隣医療機関では、日野郡内の日野病院へ4.9%、西伯郡の西伯病院へ15.6%が受療している。また、後期高齢者の場合、56.9%が当院を受療しているが、日野病院へ17.9%、西伯病院へ7.4%が受療している。

医療施設利用状況(国保被保険者)



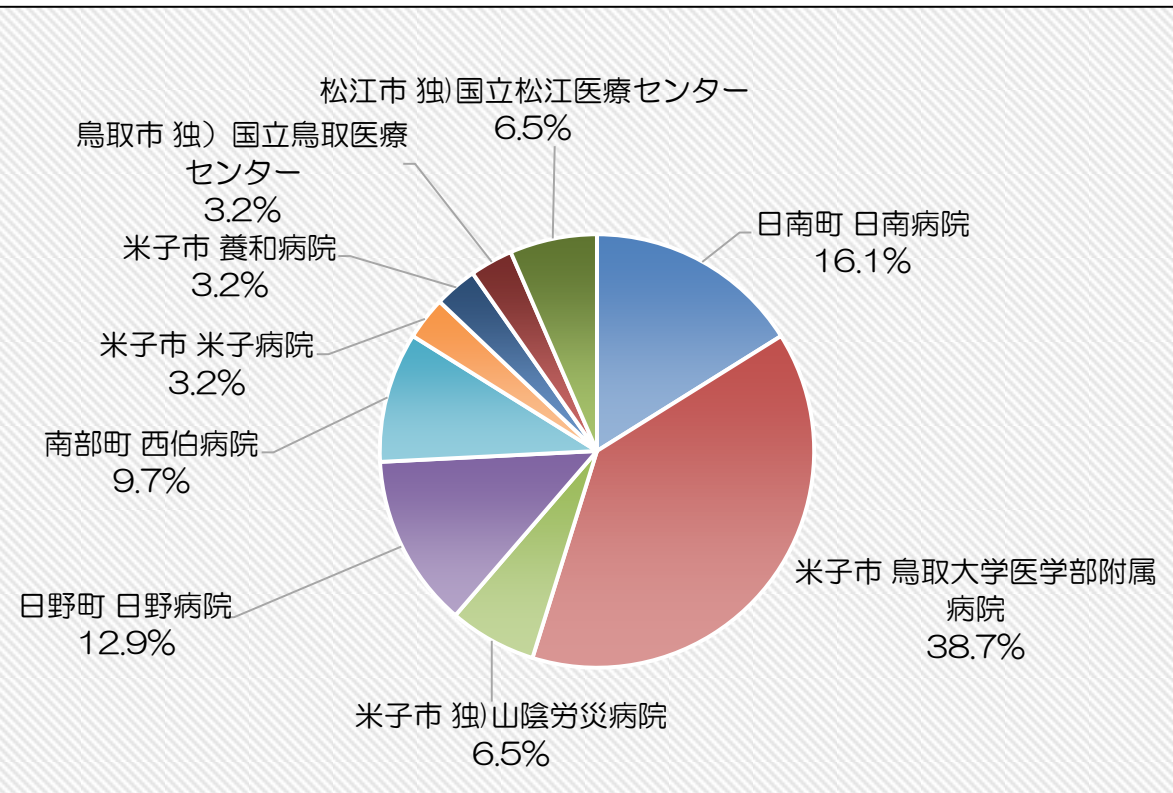
医療施設利用状況(後期高齢者)



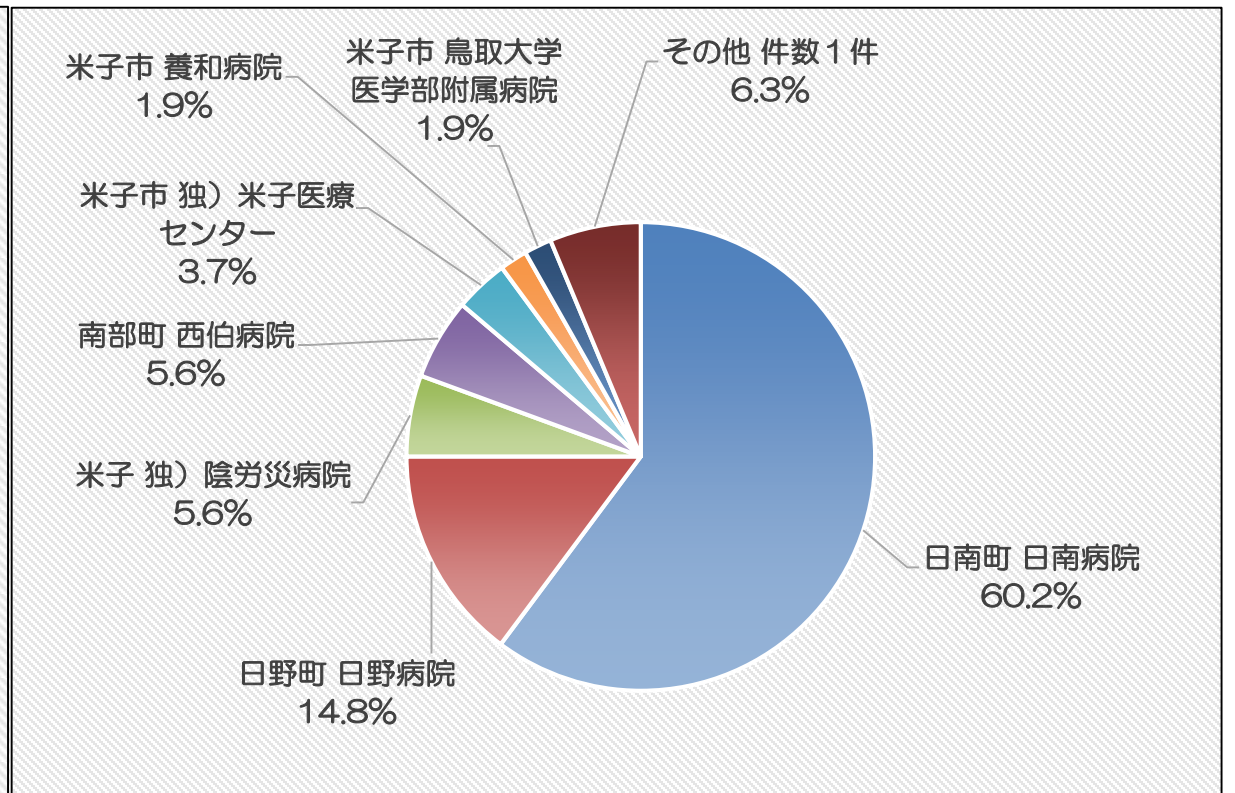
1-25-2. 日南町内の受療動向(入院) 追加資料(実患者数)

令和5年1月分の日南町の入院受療動向を構成割合で見ると、国保被保険者の16.1%が当院を受療しているが、近隣医療機関では、日野郡内の日野病院へ12.9%、西伯郡の西伯病院へ9.7%が受療している。また、後期高齢者の場合、60.2%が当院を受療しているが、日野病院へ14.8%、西伯病院へ5.6%が受療している。

医療施設利用状況(国保被保険者)



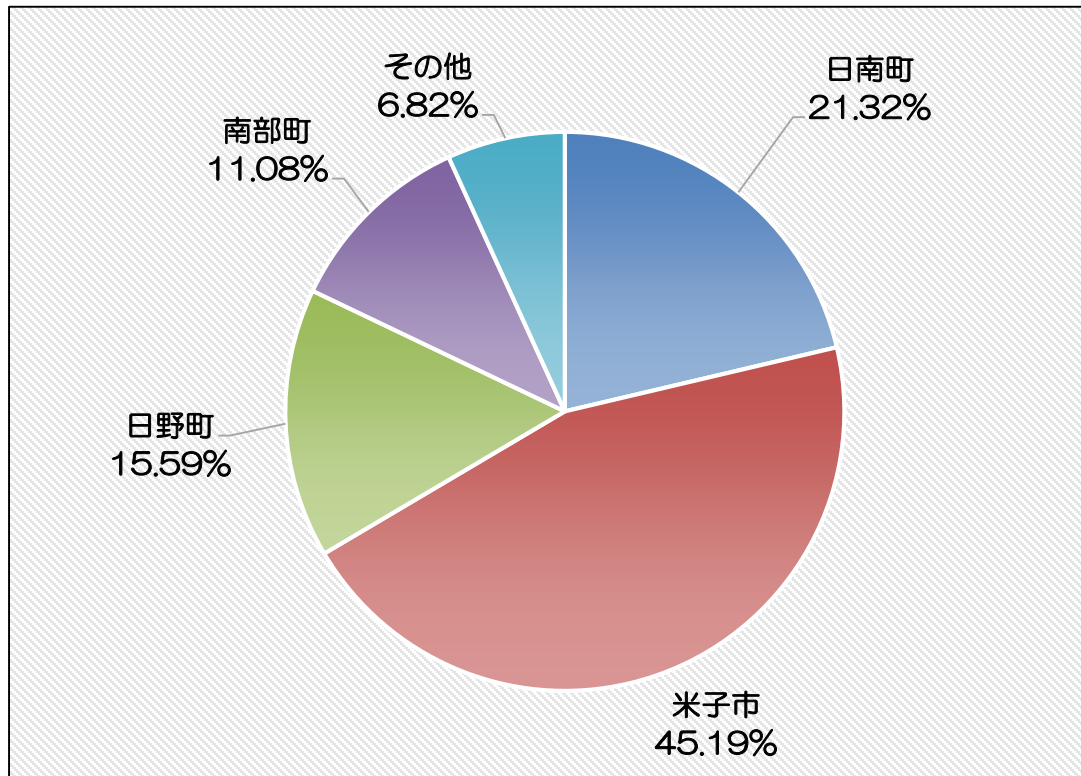
医療施設利用状況(後期高齢者)



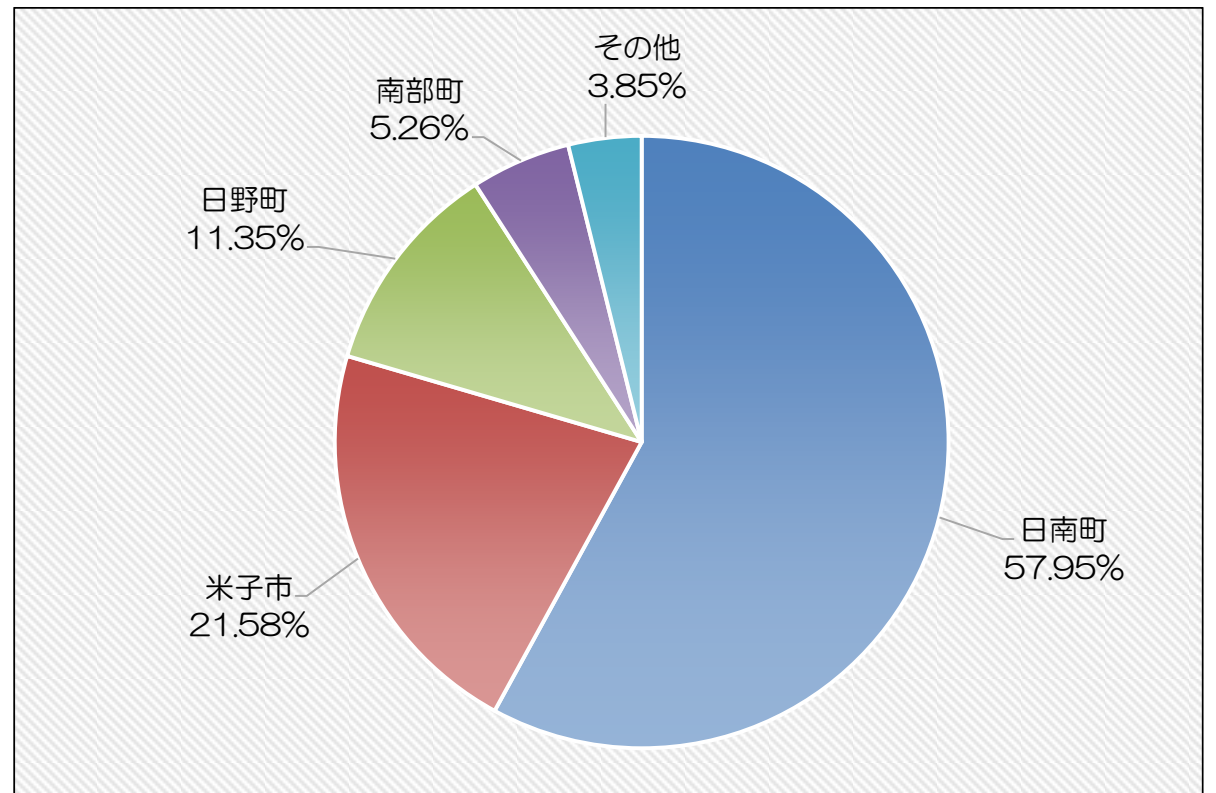
1-26-1. 日南町内の受療動向(外来) 前回資料(延べ患者数)

令和5年1月分の日南町の外来受療動向を構成割合で見ると、国保被保険者の21.3%が当院を受療しているが、近隣医療機関では、日野郡内の日野病院へ15.6%、西伯郡の西伯病院へ5.2%が受療している。また、後期高齢者の場合、58.0%が当院を受療しているが、日野病院へ11.4%、西伯病院2.5%が受療している。

医療施設利用状況(国保被保険者)



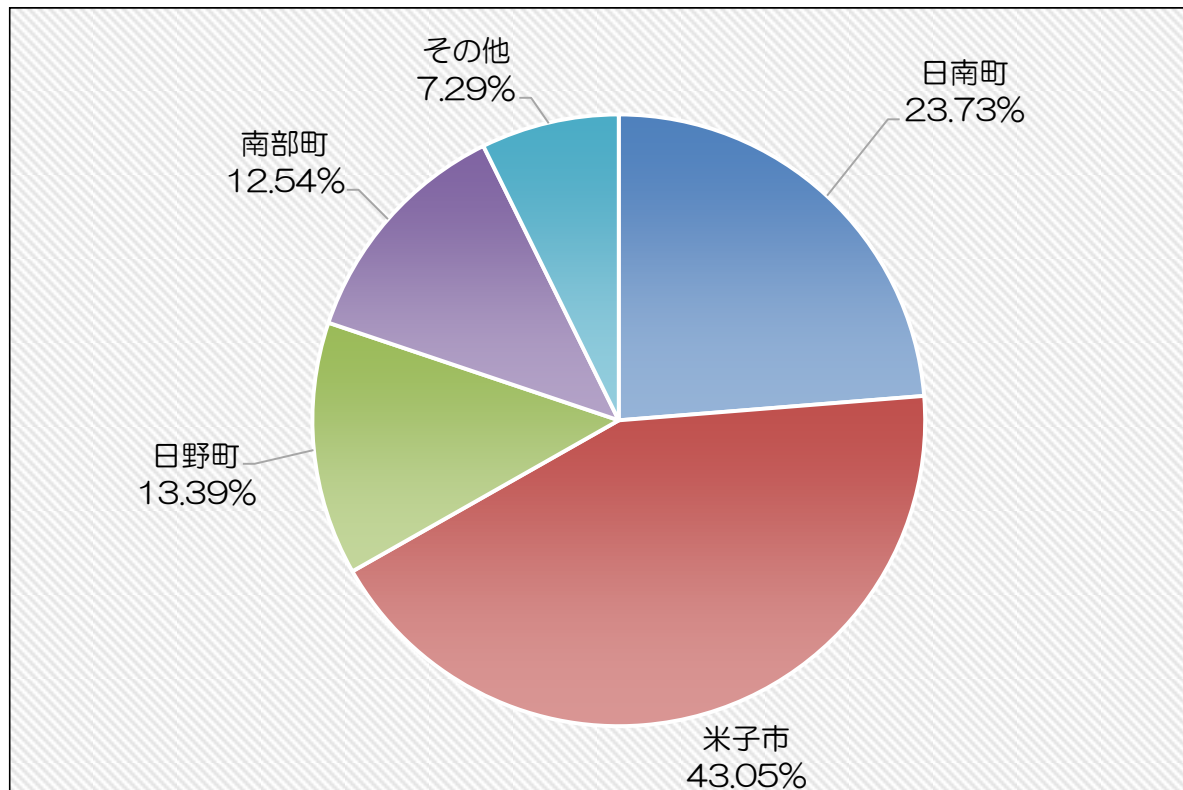
医療施設利用状況(後期高齢者)



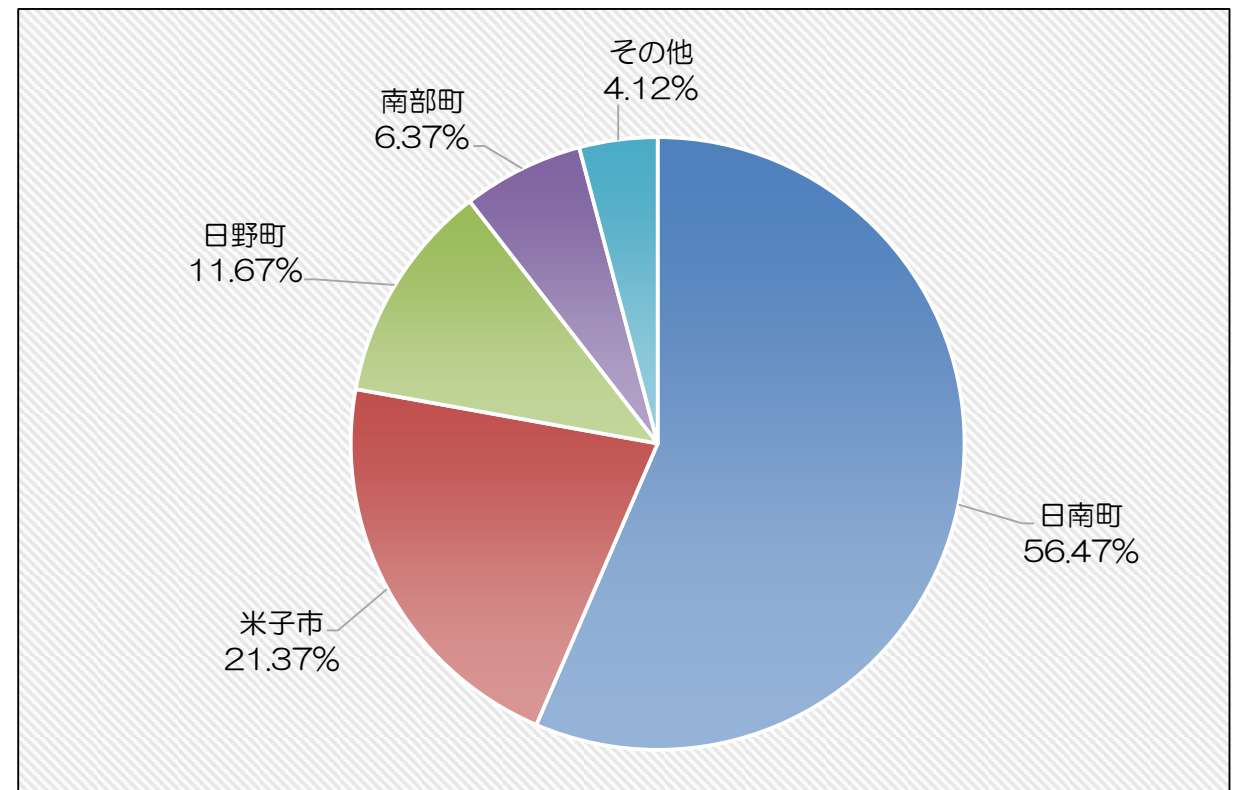
1-26-2. 日南町内の受療動向(外来) 追加資料(実患者数)

令和5年1月分の日南町の外来受療動向を構成割合で見ると、国保被保険者の23.7%が当院を受療しているが、近隣医療機関では、日野郡内の日野病院へ13.4%、西伯郡の西伯病院へ5.6%が受療している。また、後期高齢者の場合、56.5%が当院を受療しているが、日野病院へ11.7%、西伯病院3.0%が受療している。

医療施設利用状況(国保被保険者)



医療施設利用状況(後期高齢者)

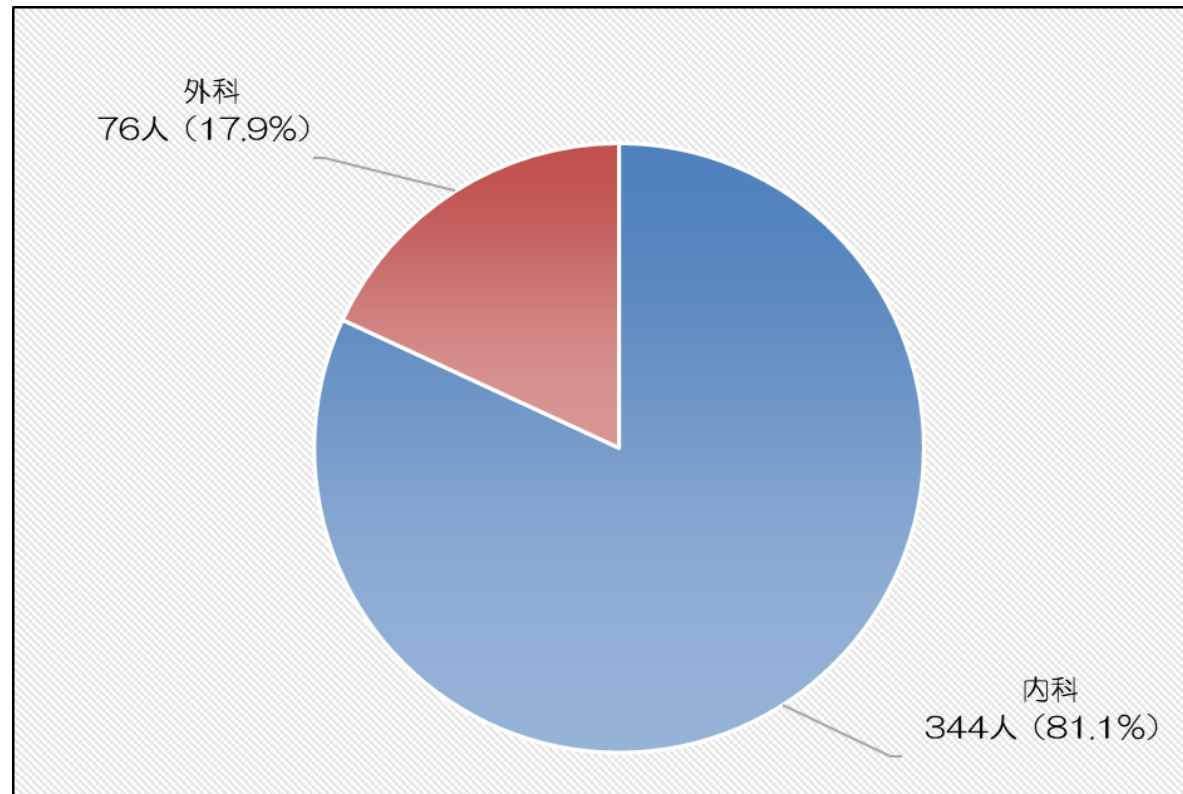


当院の入院患者の診療科別割合

(参考) 当院の診療科別に見た入院割合

令和4年度の当院の入院患者数を診療科別に見ると、内科が344人(81.1%)、外科が76人(17.9%)で構成されている。

診療科別入院患者の割合(患者数と構成比)



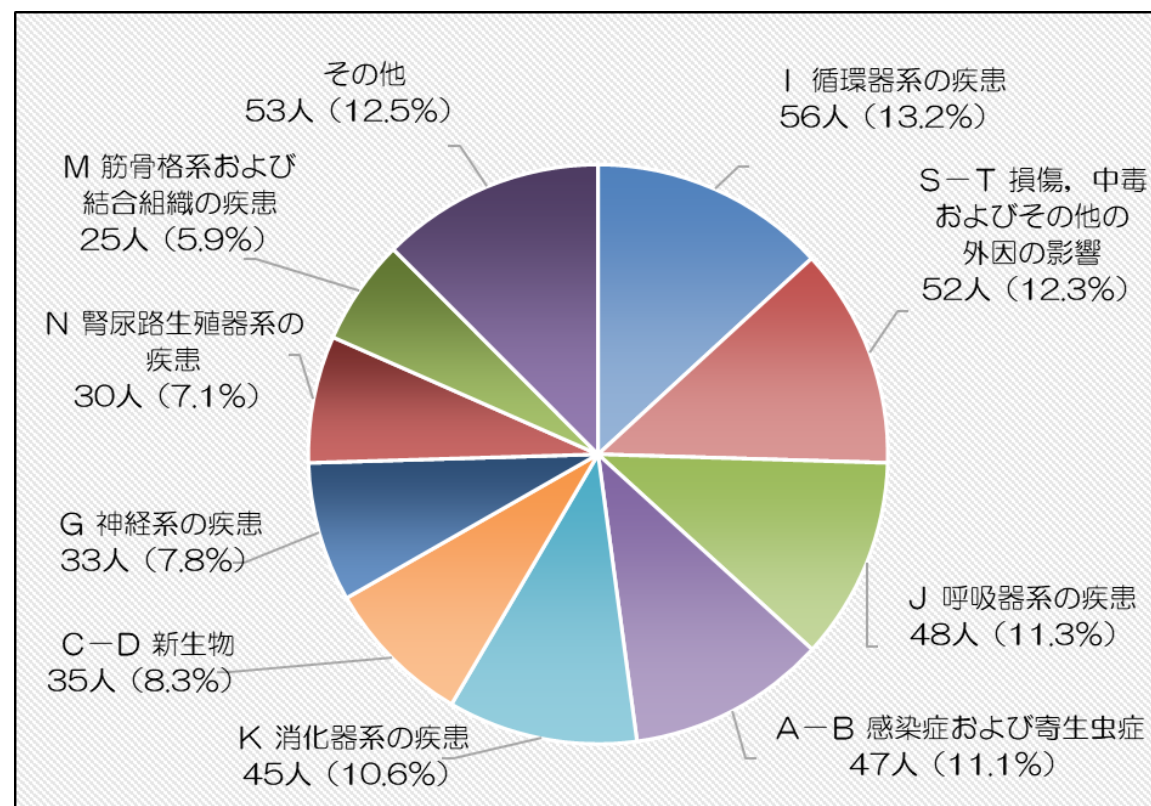
出典：当院資料より作成

当院の入院患者の傷病分類別構成比

(参考) 当院の入院患者の傷病分類別構成比

令和4年度の当院の入院患者数を傷病分類別に見ると、循環器系の疾患が56人(13.2%)で最も多く、次いで損傷、中毒およびその他の外因の影響が52人(12.3%)、呼吸器系の疾患が48人(11.3%)となっている。

傷病分類別に見た入院患者の割合(患者数と構成比)



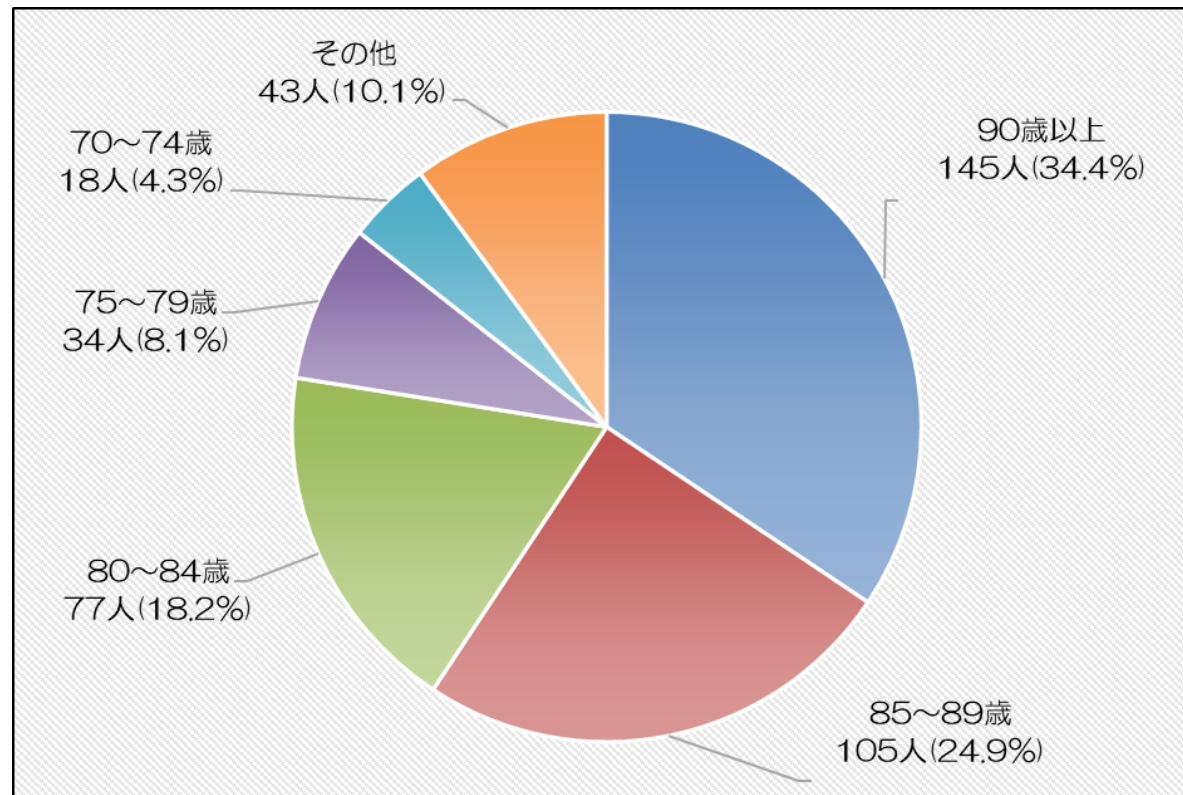
出典：当院資料より作成

当院の入院患者の年齢構成

(参考) 当院の入院患者の年齢構成

令和4年度の当院の入院患者数を年齢別に見ると、90歳以上が145人(34.4%)と最も多く、85～89歳が105人(24.9%)と続いており、85歳以上で全体の59.3%を構成している。また、70歳以上の入院患者数が全体の89.9%を構成している。

年齢別に見た入院患者の割合(患者数・構成比)



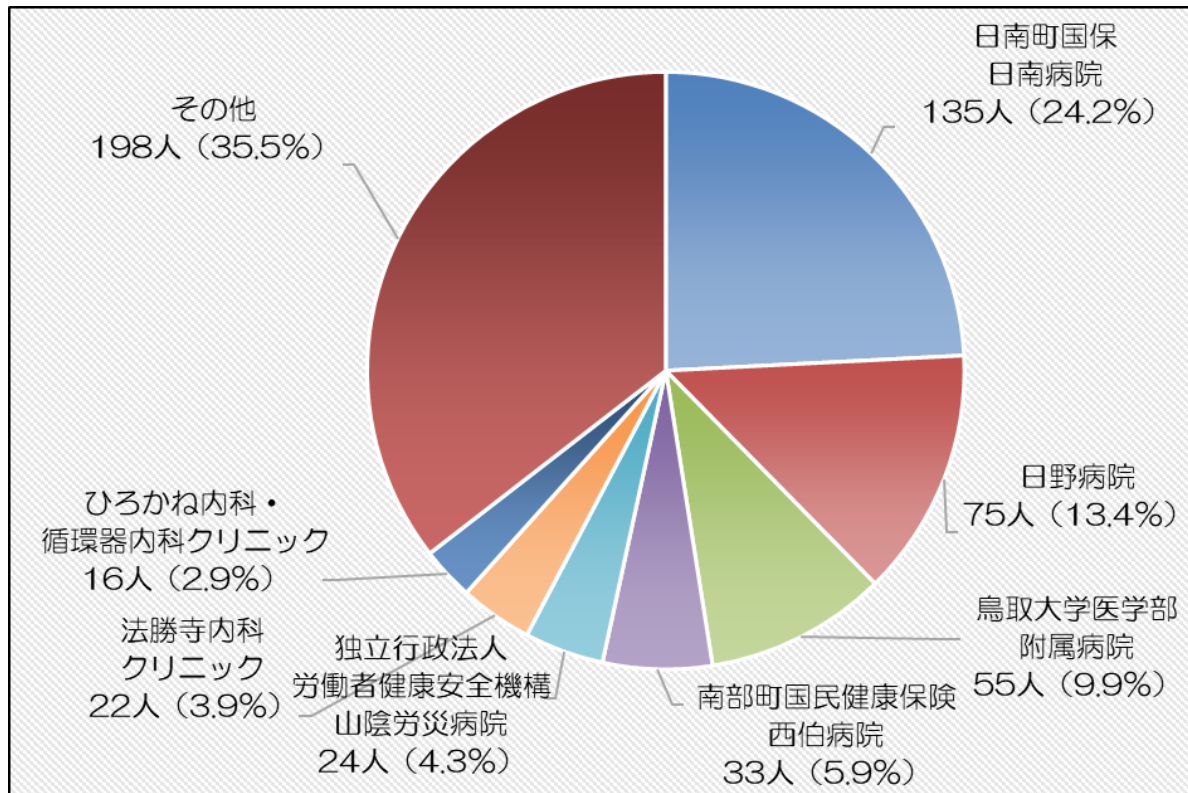
引用：令和5年1月分の国保被保険者・後期高齢者の医療施設利用状況

町民の外来受診の医療機関別構成比

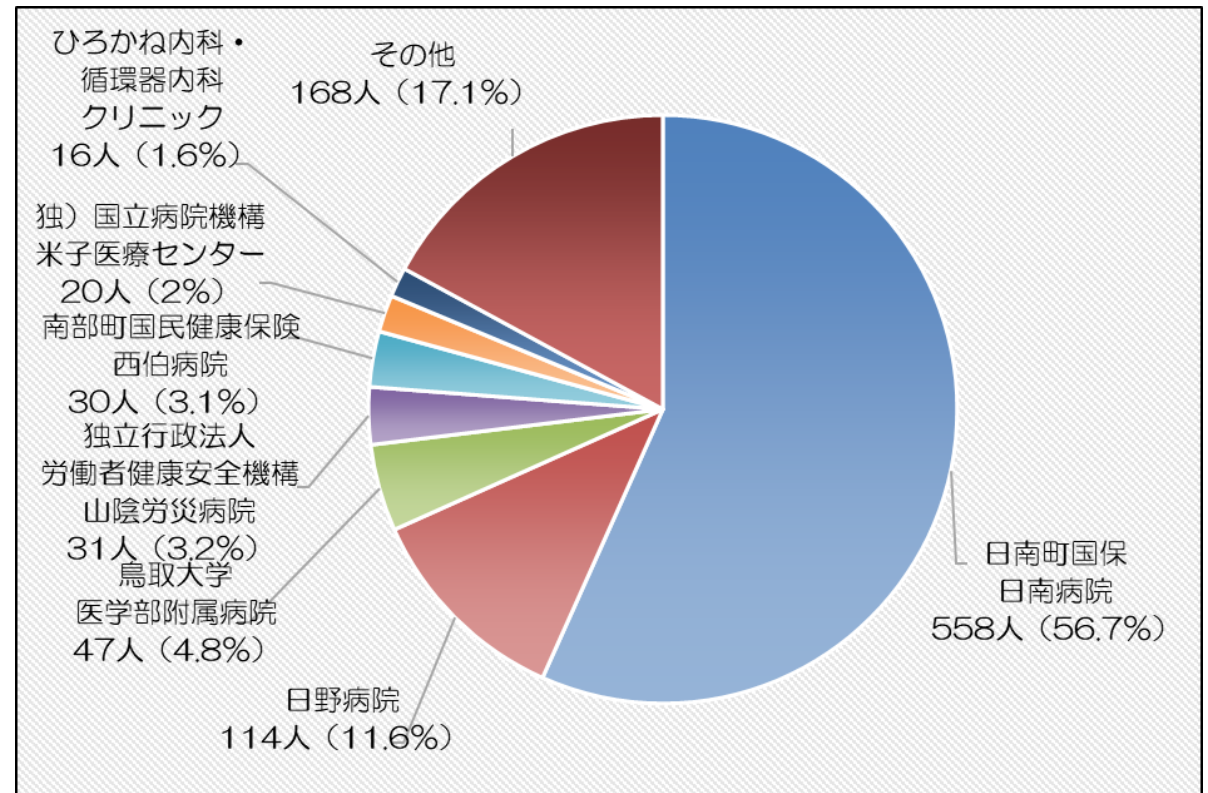
(参考) 町民の医療機関別の外来受診動向(国保・後期高齢者)

令和5年1月分の国保被保険者・後期高齢者の外来受療動向を医療機関別の構成割合で見ると、国保被保険者・後期高齢者ともに当院が最も多く、日野病院、鳥取大学医学部附属病院と続いている。

医療施設利用状況(国保被保険者)



医療施設利用状況(後期高齢者)

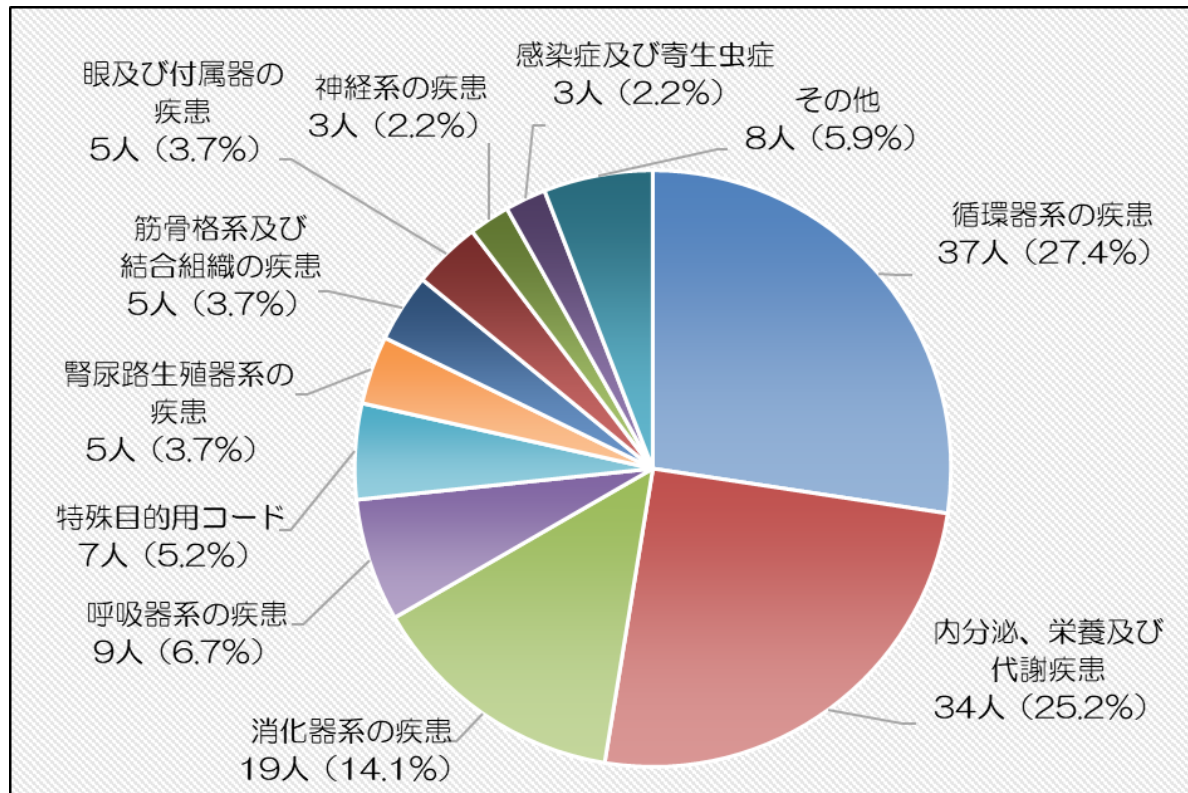


町民の他院外来受診の傷病分類別構成比

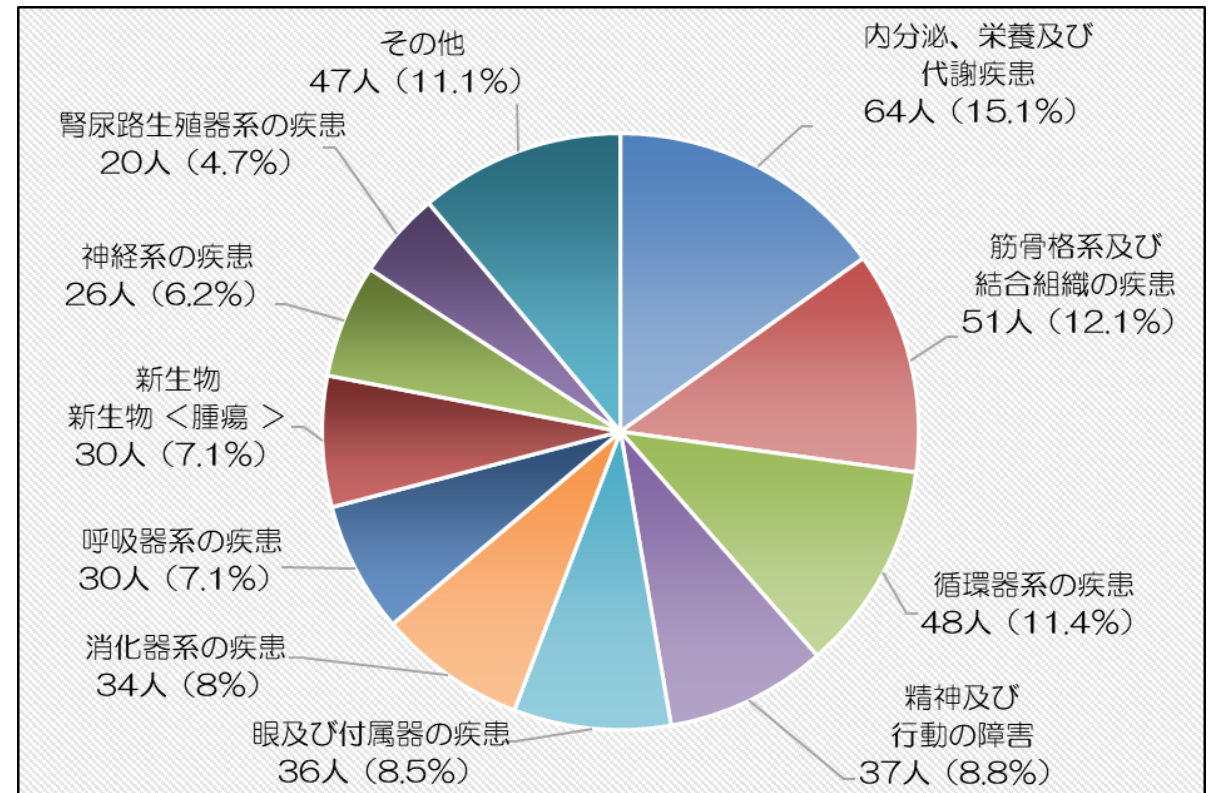
(参考) 当院と他院への受療動向の比較(外来国保)

令和5年1月分の国保被保険者の外来受療動向を当院・他施設の傷病分類別の構成割合で見ると、当院の外来国保患者の内、循環器系の疾患が37人(27.4%)で最も多く、内分泌、栄養及び代謝疾患34人(25.2%)、消化器系の疾患19人(14.1%)と続いている。他施設の外来国保患者の内、内分泌、栄養及び代謝疾患が64人(15.1%)で最も多く、筋骨格系及び結合組織の疾患51人(12.1%)、循環器系の疾患48人(11.4%)と続いている。

当院利用状況(国保被保険者)



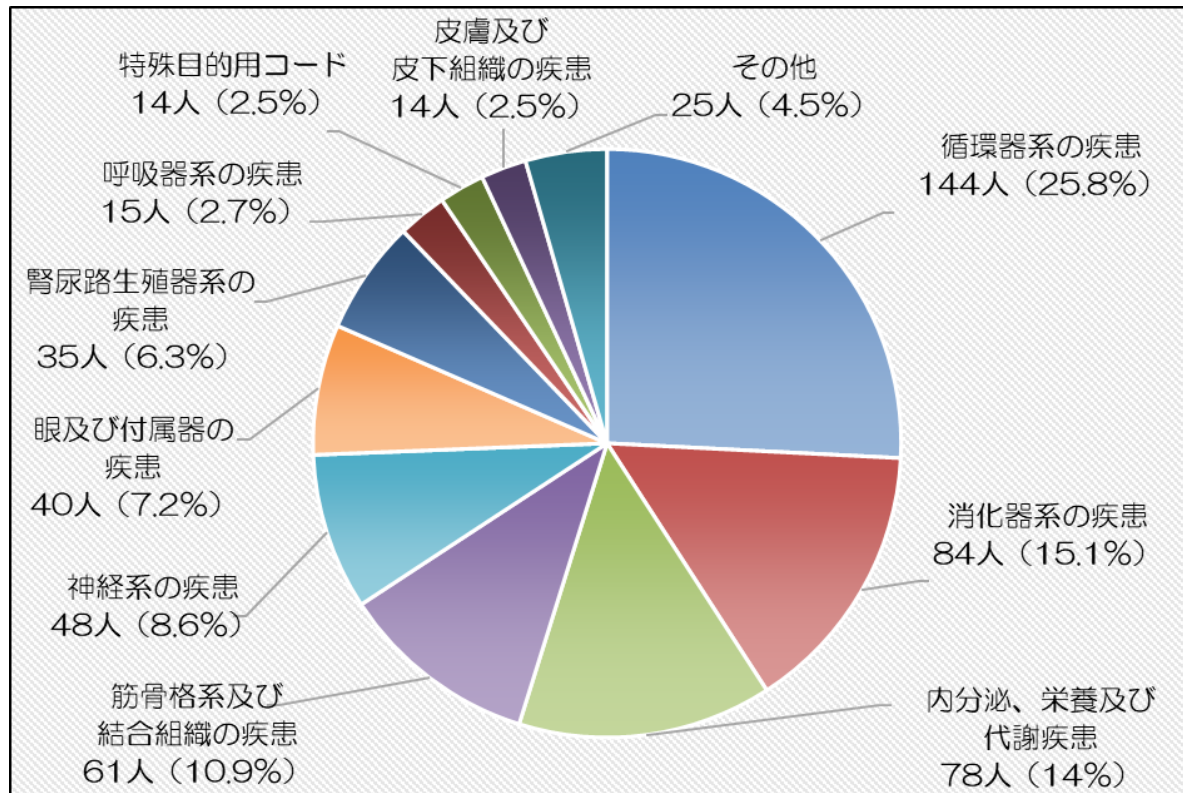
他施設利用状況(国保被保険者)



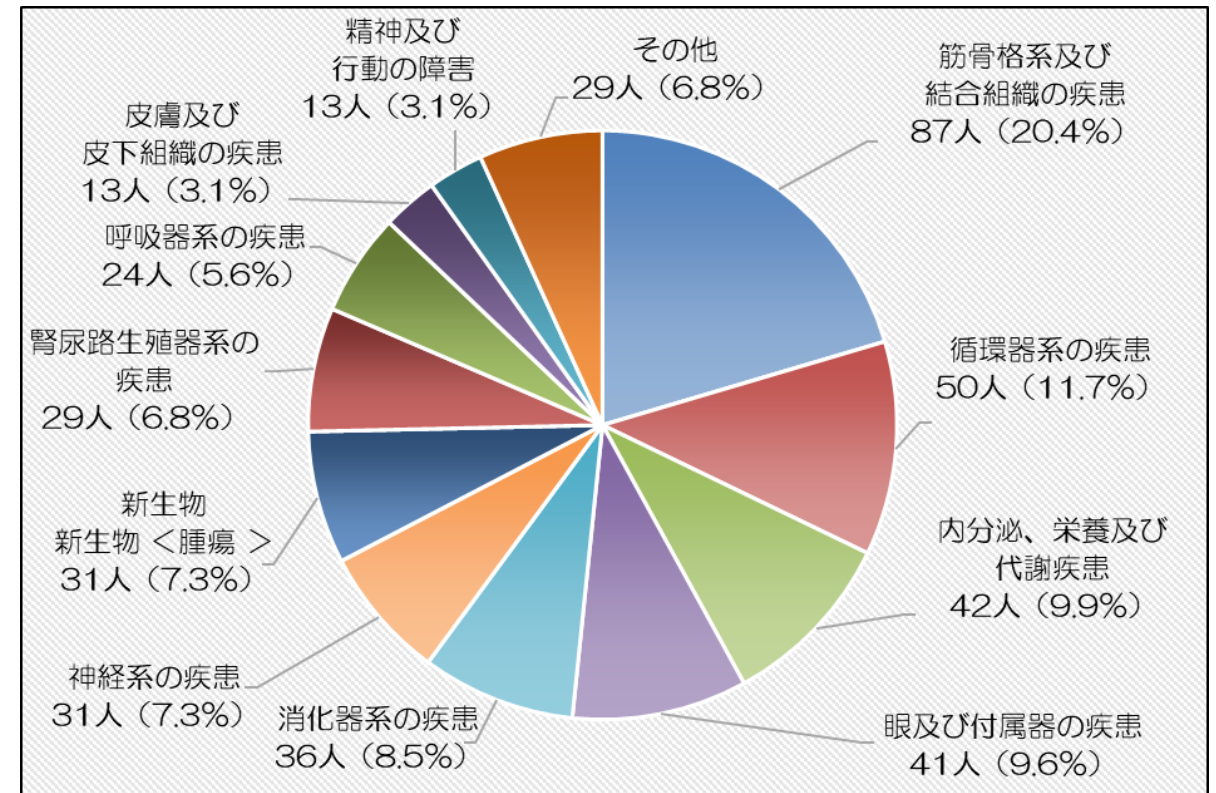
(参考) 当院と他院への受療動向の比較(外来後期高齢)

令和5年1月分の後期高齢者の外来受療動向を当院・他施設の傷病分類別の構成割合で見ると、当院の外来後期高齢患者の内、循環器系の疾患が144人(25.8%)で最も多く、消化器系の疾患84人(15.1%)、内分泌、栄養及び代謝疾患78人(14.0%)と続いている。他施設の外来後期高齢患者の内、筋骨格系及び結合組織の疾患が87人(20.4%)で最も多く、循環器系の疾患50人(11.7%)、内分泌、栄養及び代謝疾患42人(9.9%)と続いている。

当院利用状況(後期高齢者)



他施設利用状況(後期高齢者)



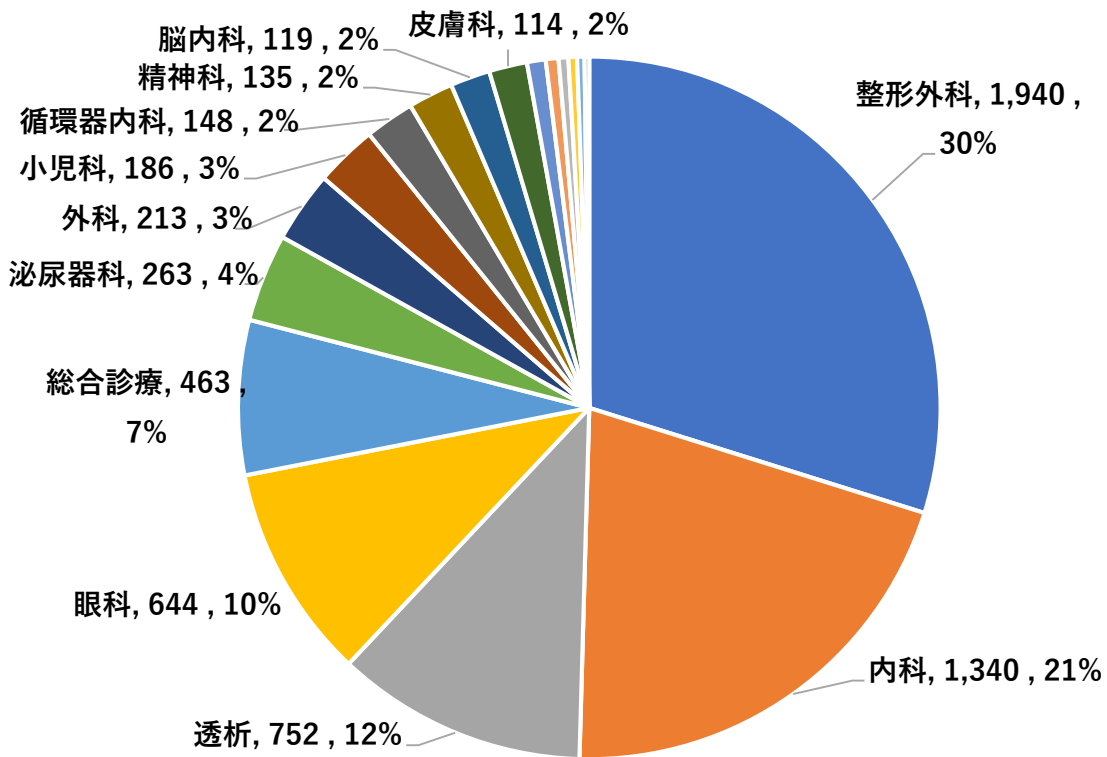
町民の他院外来受診診療科・年齢構成

日南町民の受療動向(R4外来:日野病院さま調べ)

- 整形外科、内科及び透析の需要が高い。
- 整形外科などの受診ニーズとセットでの内科受診の傾向がある。
- 高齢になられても相当数は町外への受診傾向がある。

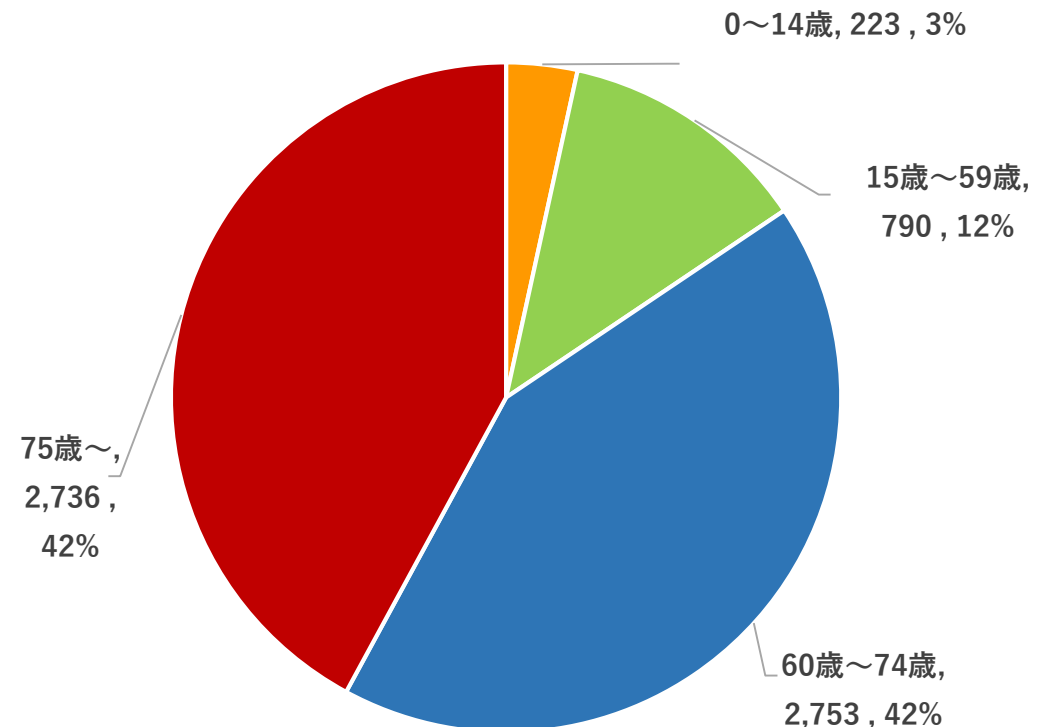
日南町民の診療科別日野病院延べ受診者数

(R4年度)



日南町民の年齢構成別日野病院実受診患者数

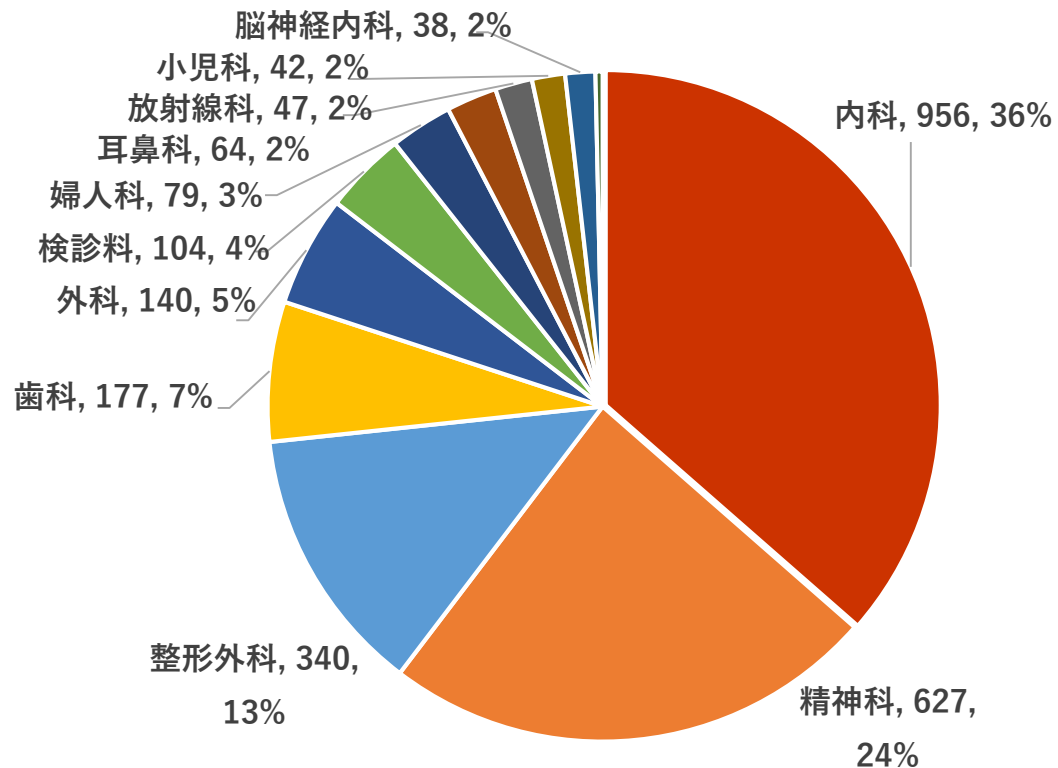
(R4年度)



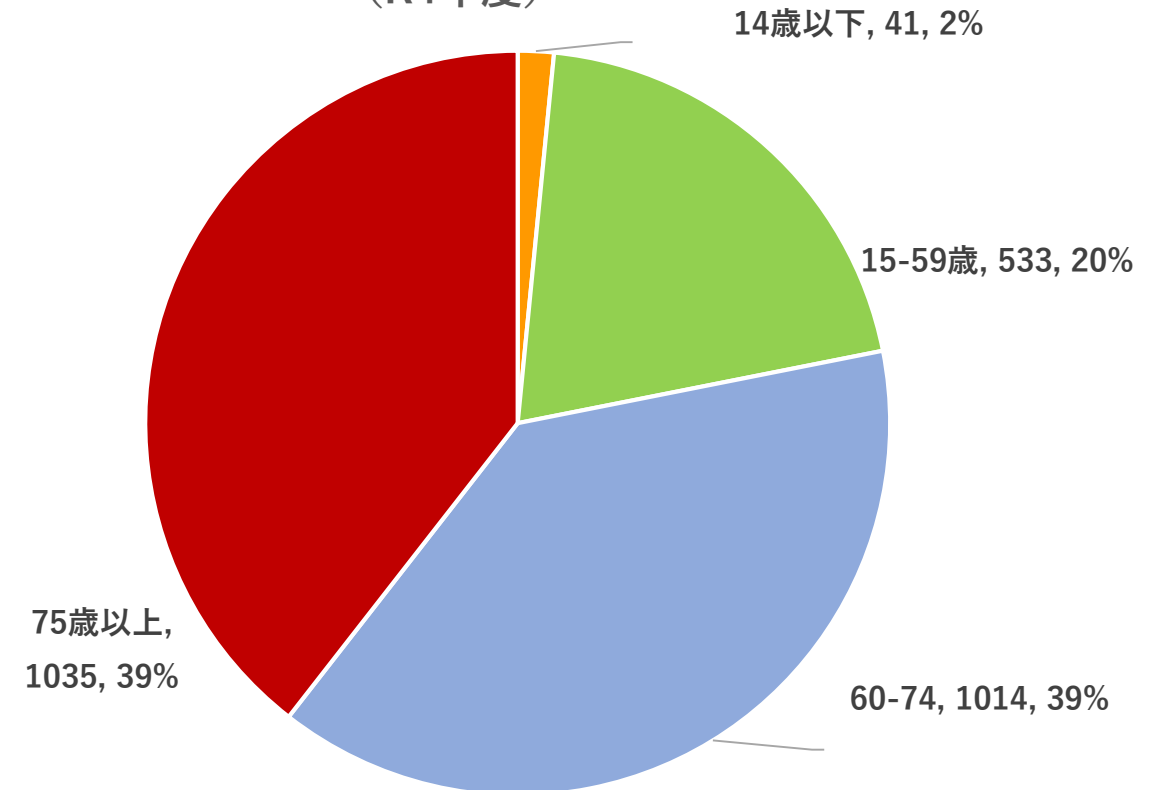
日南町民の受療動向(R4外来:西伯病院さま調べ)

- ・内科のほか精神科、整形外科、歯科等の需要が高い。
- ・住所地別では大宮地域の受診者が24%(人口比6%)と多く、地理的な影響も考えられる。
- ・高齢になられても相当数は町外への受診傾向がある。

日南町民の診療科別西伯病院延べ受診者数
(R4年度)



日南町民の年齢構成別西伯病院延べ受診者数
(R4年度)



日南病院 住民・患者アンケート

過去に実施したアンケートと主な意見について

当院で実施した主なアンケートについて

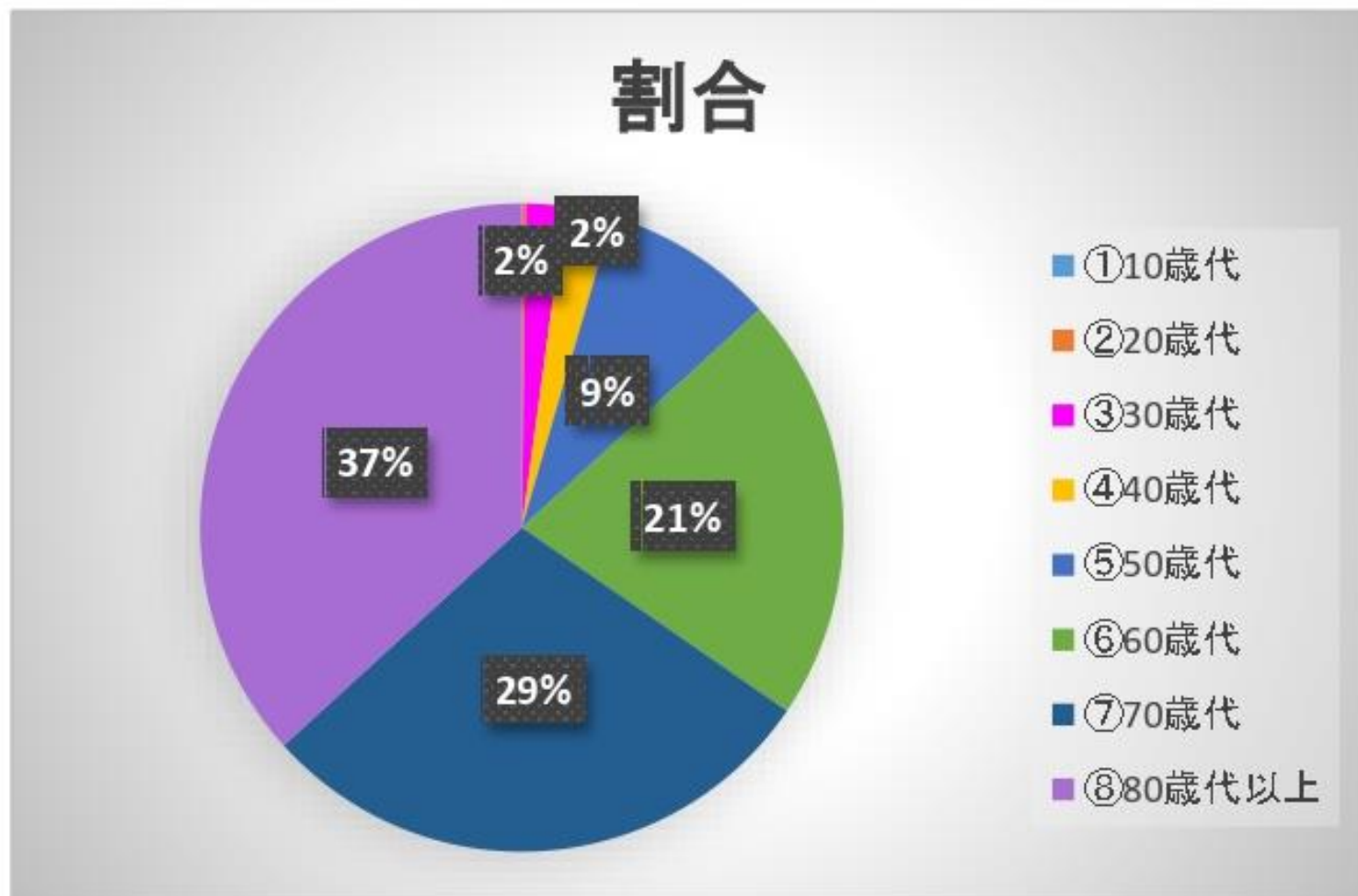
- ・平成28(2016)年6月 住民アンケート
- ・令和2(2020)年7月～9月 町民座談会
- ・令和4年2月～3月 来院患者アンケート
- ・令和5年2月～3月 来院患者アンケート

平成28年 町民アンケートの結果(抜粋)

日南病院アンケート

- アンケート実施期間:平成28年6月
- アンケート対象者:日南町にお住まいの方1963件
- アンケート方法:アンケート用紙に記入
- 回答数: 462 件
- 回答数: 23.5%

問2 あなたの年代を教えてください。



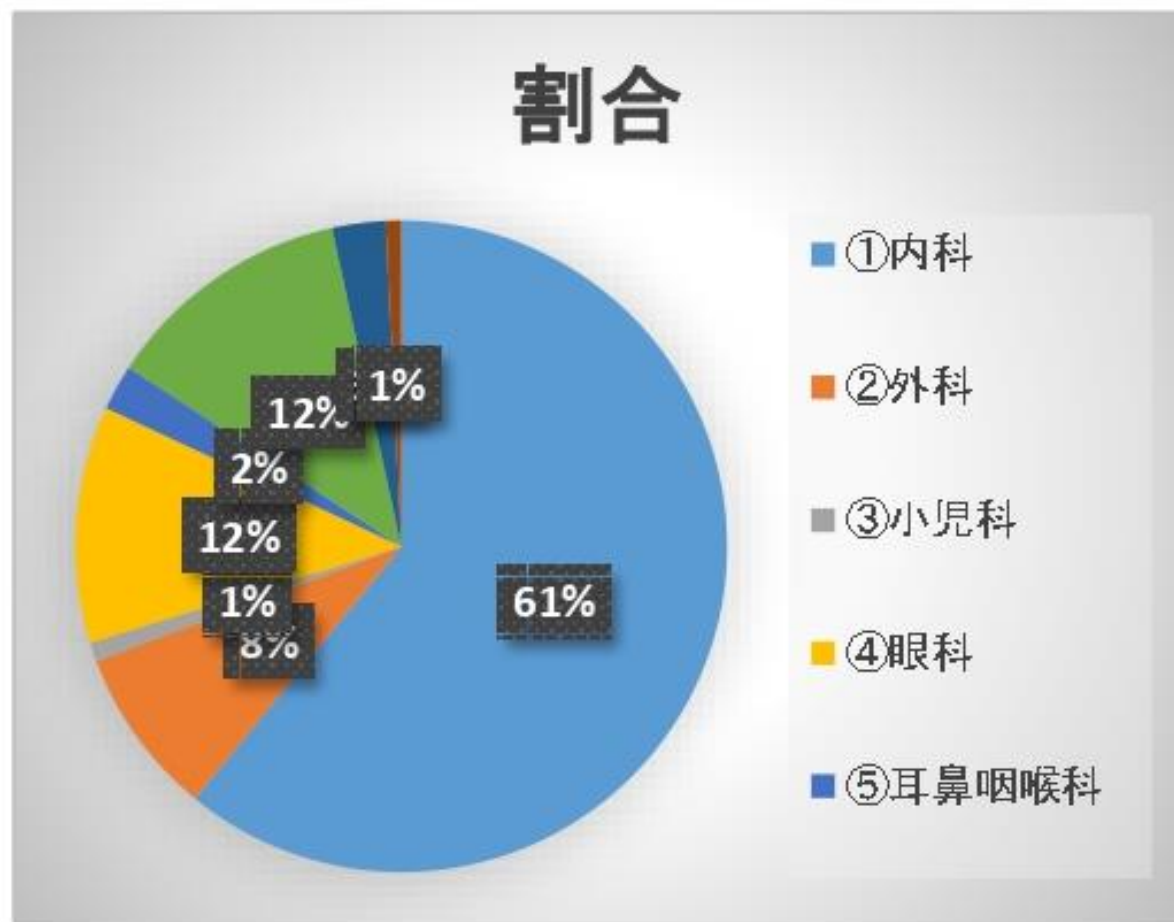
回答	件数	割合
①10歳代	0	0%
②20歳代	1	0%
③30歳代	9	2%
④40歳代	11	2%
⑤50歳代	40	9%
⑥60歳代	98	21%
⑦70歳代	132	29%
⑧80歳代以上	169	37%
全体	460	100%

問4 現在、あなた又はご家族の方は、日南病院を利用していますか。



回答	件数	割合
①利用している。	370	80%
②以前は利用していたが、現在は利用していない。	77	17%
③利用したことがない	15	3%
合計	462	100%

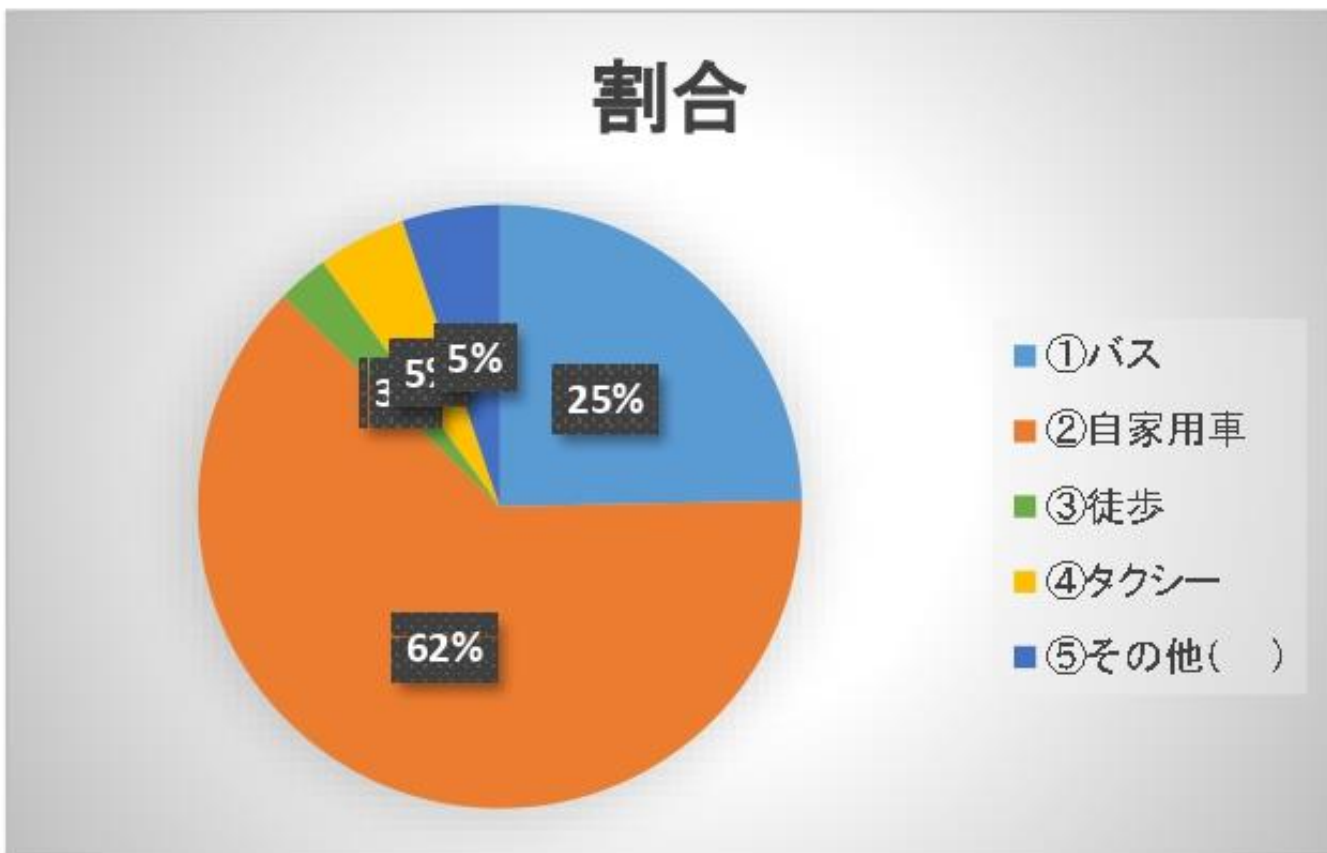
問7 主に何科を受診していますか。
 (複数回答をすべて集計)



回答	件数	割合
①内科	321	61%
②外科	44	8%
③小児科	5	1%
④眼科	62	12%
⑤耳鼻咽喉科	12	2%
⑥整形外科	65	12%
⑦皮膚科	14	3%
⑧その他(ドック等)	4	1%
合計	527	100%

問8 病院までどうやって来ていますか。

(複数回答をすべて集計)

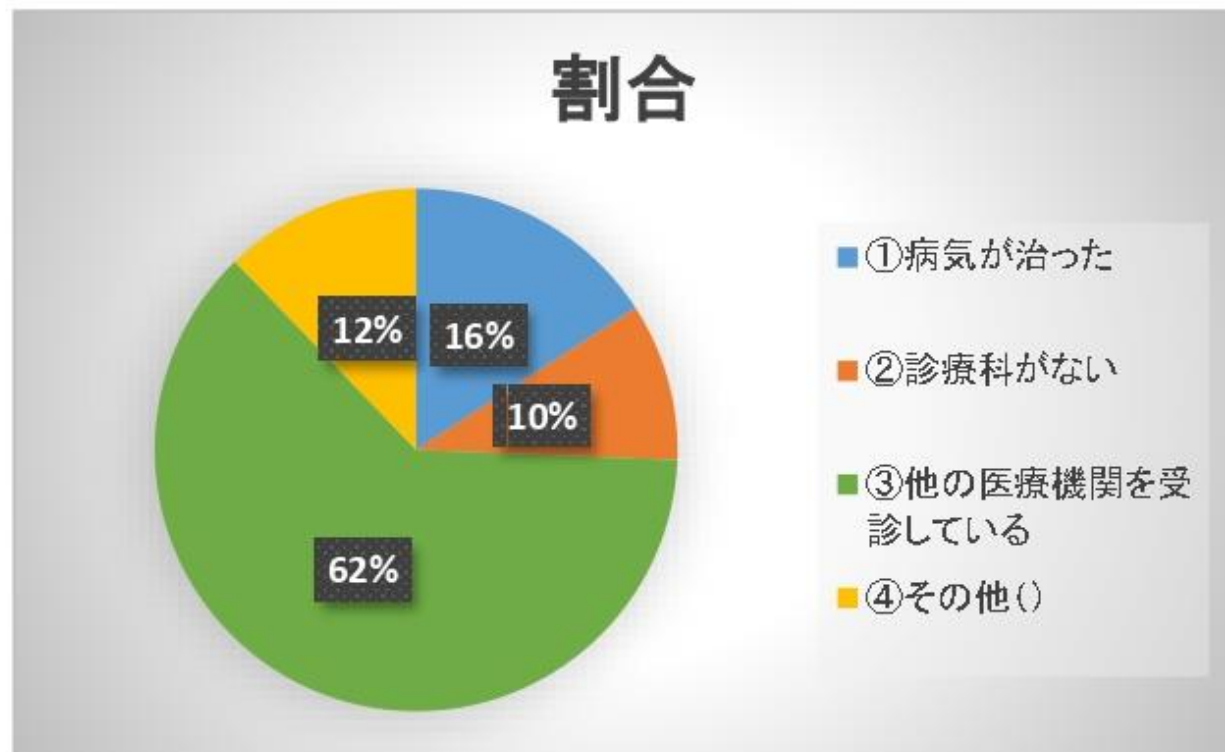


回答	件数	割合
①バス	99	25%
②自家用車	251	63%
③徒歩	11	3%
④タクシー	19	5%
⑤その他()	21	5%
合計	401	100%

⑤その他詳細	件数
往診など	3
知人の車	2
自転車	1
ホームヘルプセンターの車	1
不明(記入なし)	14

【問4で「②以前は利用していたが現在は利用していない」方にお尋ねします。】

問9 現在利用していない主な理由は何ですか。



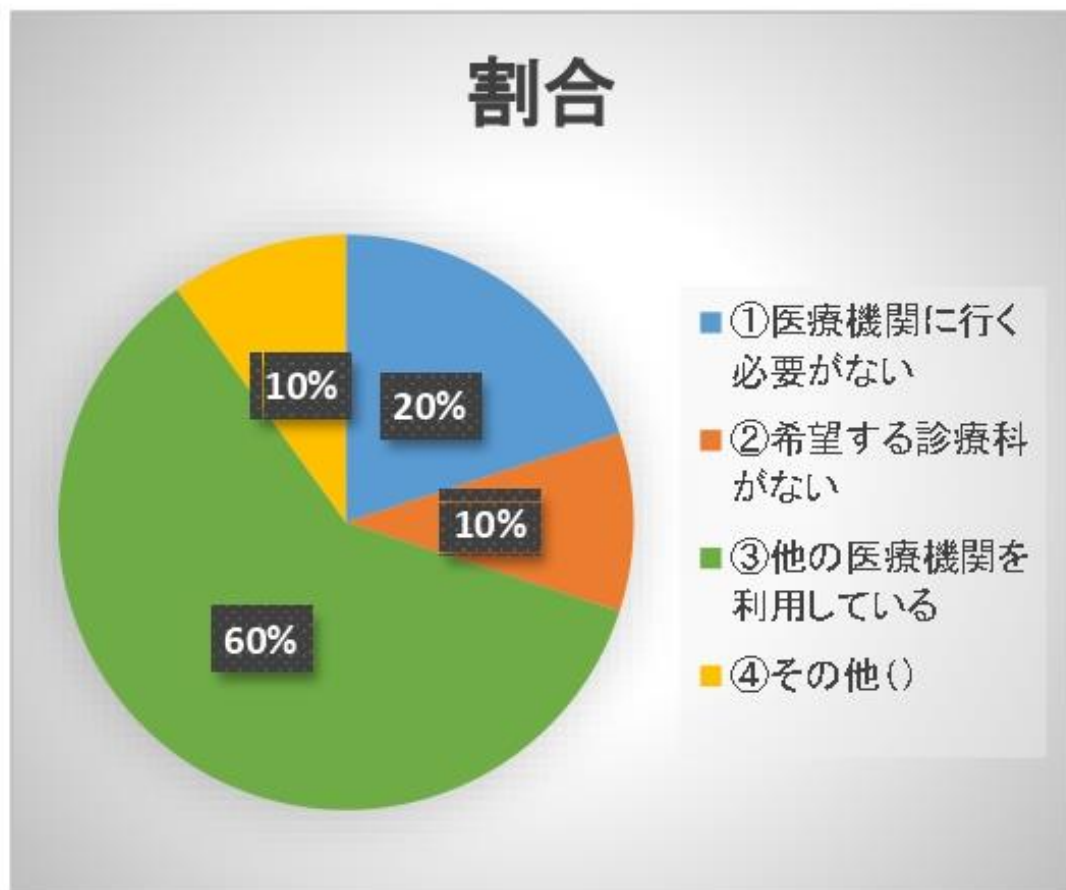
回答	件数	割合
①病気が治った	13	16%
②診療料がない	8	10%
③他の医療機関を受診している	51	62%
④その他()	10	12%
合計	82	100%

④その他詳細	件数
看護師の対応が悪い	2
家族が以前利用していた	1
病気の見立てに間違いが多い	1
家族が亡くなった	2

※問4で②以外を選んでいて問9の記入があるものも集計

【問4で「③利用したことがない」と回答した方にお尋ねします。

問10 利用しない理由は何ですか。

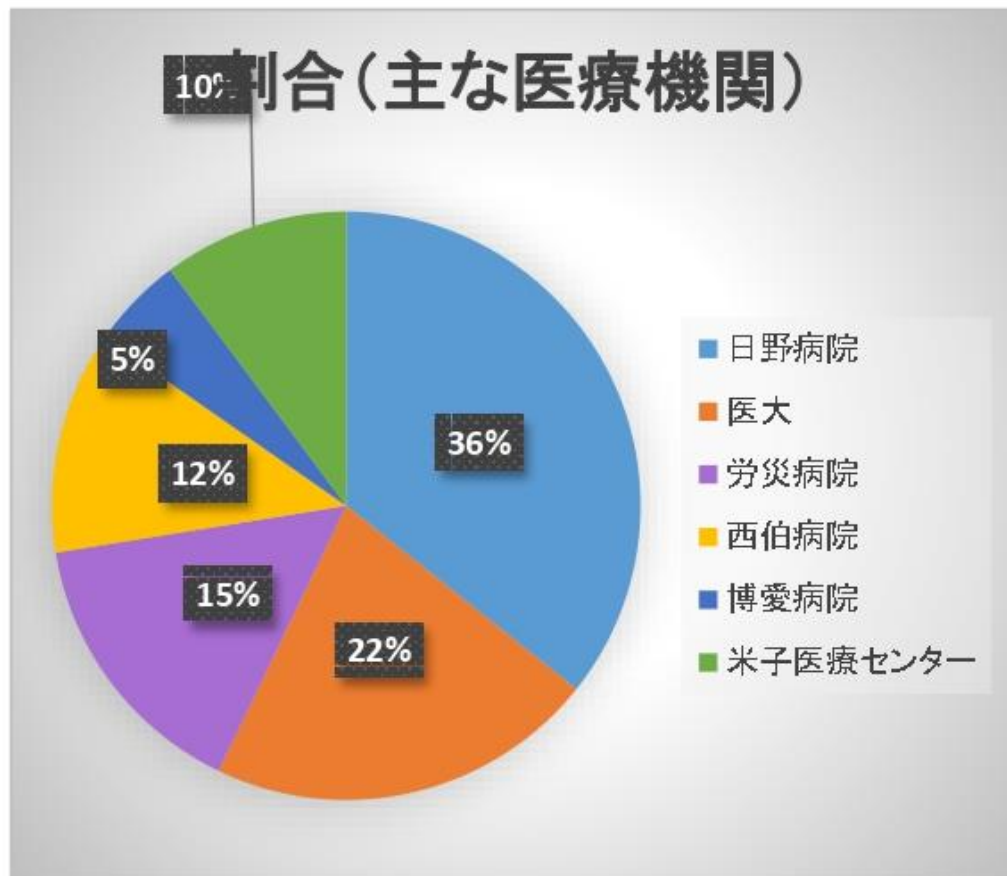


回答	件数	割合
①医療機関に行く必要がない	6	20%
②希望する診療科がない	3	10%
③他の医療機関を利用している	18	60%
④その他()	3	10%
合計	30	100%

④その他詳細	件数
人間ドックを他病院でうけているため	1
評判が悪く行く気になれない	1
独居老人なので病院へ行く便が無い	1

※問4で③以外を選んでいて問10の記入があるものも集計

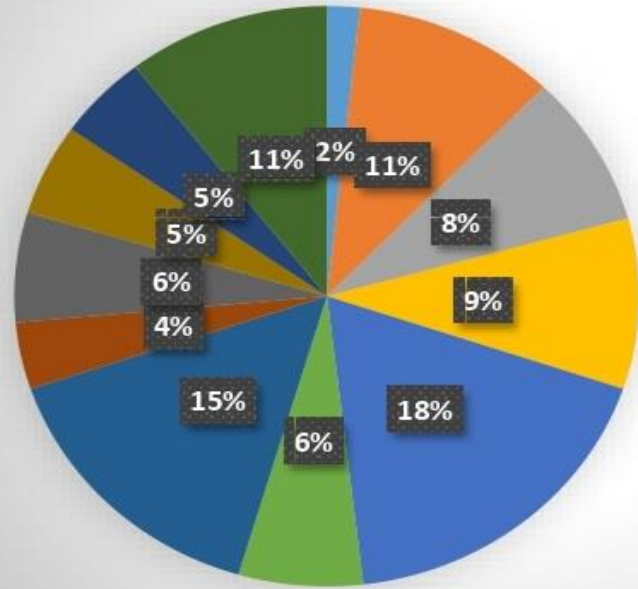
問11 現在日南病院以外の医療機関を利用されている方は、差し支えなかったらその医療機関名をお書きください。



回答	件数	割合
日野病院	35	29%
医大	21	17%
労災病院	15	12%
西伯病院	12	10%
博愛病院	5	4%
ひろかねクリニック(南部町)	3	2%
米子医療センター	10	8%
かねだ眼科	2	2%
法勝寺内科クリニック	2	2%
いわさき皮膚科	1	1%
奥出雲	1	1%
さくまクリニック(米子)	1	1%
佐古眼科	1	1%
高島病院	1	1%
滝田整形外科	1	1%
田中外科	1	1%
町外の個人病院	1	1%
新見渡辺病院	1	1%
根津整形	1	1%
ひがみ耳鼻科	1	1%
藤井外科	1	1%
法勝寺クリニック	1	1%
森医院(南部町)	1	1%
山田内科(米子)	1	1%
米子山形整形	1	1%
全体	121	100%

問12 なぜその医療機関を選ばれましたか。
(複数回答 可)

割合



- ①勤務先から近いから
- ②待ち時間が短いから
- ③予約ができるから
- ④診療内容がよいから
- ⑤希望の診療科があるから
- ⑥診てほしい医師がいるから
- ⑦医師・スタッフの対応がいいから
- ⑧交通の便がいいから
- ⑨他の医療機関から紹介されたから

回答	件数	割合
①勤務先から近いから	5	2%
②待ち時間が短いから	31	11%
③予約ができるから	25	8%
④診療内容がよいから	28	9%
⑤希望の診療科があるから	53	18%
⑥診てほしい医師がいるから	19	6%
⑦医師・スタッフの対応がいいから	45	15%
⑧交通の便がいいから	11	4%
⑨他の医療機関から紹介されたから	18	6%
⑩人の目が気にならないから	15	5%
⑪他の用務をするついでだから	14	5%
⑫その他()	31	11%
全体	295	100%

⑫詳細

30年前からドックを受診している
ペースメーカーの定期検査
整形外科、眼科が毎日あるから
日南病院からの紹介
以前その医療機関で受診したから
見立てが良い
整形外科の日が多いから
日南病院の医師の質の問題
知人の紹介で
土曜日でも診てもらえるから
会計が早い
評判がいいと聞いたから
泌尿器科があるから
夕方や土曜日に診てもらえるから
20年前から整形外科に通っているから
医大との連携がスムーズだから
午後や土曜日の診療がある

住民アンケートで出た主な意見(平成28年6月)

アンケートの対象(人数)	日南町にお住まいの方(1963件)
実施時期	平成28年6月
目的	日南病院が診療圏の皆様によりよい医療を提供するため
回答率	23.5%
質問項目	主な回答
①なぜその医療機関を選ばれましたか	・待ち時間が短いから
	・希望の診療科があるから
	・医師、スタッフの対応が良いから 他
②日南病院についてどのような医療サービスを充実してほしいと思いますか	・外科診療(整形外科・小児科)の充実
	・高齢者医療
	・長期療養に対応した医療型療養 他
③入院診療も含め、日南病院に対してのご意見(自由記入)	・待ち時間が長い
	・接遇が悪い
	・診療科の拡充
	・外来を番号呼び出しにしてほしい
	・スキルの向上を望む
	・身近な病院なので助かっている ・在宅でお世話になっている 他

町民座談会が出た主な意見(令和2年7月～9月)

アンケートの対象(人数)	町民(山上・多里・大宮・日野上・福栄・阿毘縁・石見地区)(78人)
実施時期	令和2年7月29日～9月29日
目的	-
回答率	-
質問項目	主な回答
①困ったこと・苦情等	・病院がなくならないようにしてほしい
	・患者さんへの声掛けが少ない(看護師)
	・病院全体が情報共有、連携がとれていない
	・待ち時間が長い 他
②病院への要望	・MRIを導入してほしい
	・呼び出しは診察番号でなく名前が良い
	・入院するなら個室が良い
	・町や福祉のサービスを患者さんが困ったときにスタッフが情報提供できるようにしてほしい
	・かかりつけ医、ホームドクターとして、大きな病院ともしっかり連携をとっていただきたい
	・地域連携室は住民が直接相談できる場になってほしい 他
③病院の良いところ	・看護師が親切
	・まずはみんなの意見を聞く座談会などの取り組みは良い
	・訪問診療があるので心強い
	・朝の職員の挨拶は良い 他

来院患者アンケートで出た主な意見(令和5年2月～3月)

アンケートの対象(人数)	実施期間中に来院され、ご協力いただいた方(146人)
実施時期	令和5年2月27日～3月24日の4週間
目的	患者満足度調査(仮称)
回答率	-
質問項目	主な回答
①日南病院への満足度はどうですか？	・待つ時間が長い
	・整形外科、週1から2回診察があれば嬉しい
	・医師、看護師が親切で信頼できる
	・対応が良い
②体調が悪くなった時や困った時、気軽に相談ができる病院ですか？	・近くにないのであまり電話しない
	・MRIなど設備が整っていない
	・困った時に電話すれば対応していただけますありがとうございます
	・対応が良いので助かります
③日南病院を家族・知人に紹介したいと思いますか？	・MRIが無いので他の病院に行く人が多い
	・専門科が少なく曜日も限られている
	・設備が不十分
	・科によってお休みが多い科があること、毎日ではない科があるため進んで紹介はできない

今回実施している住民アンケートの質問項目

日南病院から

新しい病院づくり町民アンケート用紙

このアンケート用紙の各質問に該当すると思われる項目に○印を記入してください。また、その他や自由記載の欄には、具体的な内容を記載してください。
アンケート用紙は裏表に16の質問があります。全て記入いただいたこの用紙を同封の返信用封筒に入れ封をし、令和5年8月4日(金)までにポストに入れてください。(切手は不要です)皆様のご協力をお願いいたします。

問1 あなたの年齢を教えてください(Oは1つ)

- ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代 ⑧ 80歳代以上

問2 あなたの世帯の人数を教えてください(Oは1つ)

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人以上

問3 あなたのお住まいの地域を教えてください(Oは1つ)

- ① 日野上 ② 多里 ③ 山上 ④ 阿毘縁 ⑤ 大宮 ⑥ 福栄 ⑦ 石見

問4 老朽化等による日南病院の新築計画には賛成ですか(Oは1つ)

- ① 賛成 ② 反対 ③ どちらでもない・わからない

賛成または反対されるのはなぜですか(下欄に記載ください)

問5 日南病院にあるとよと思われる診療科はありますか(Oは5つまで)

- ① 総合診療科※注1 ② 内科 ③ 循環器科 ④ 消化器科 ⑤ 血液内科 ⑥ 呼吸器科
⑦ 泌尿器科⑧ 外科 ⑨ 心臓血管外科 ⑩ 脳神経外科 ⑪ 乳腺外科 ⑫ 整形外科
⑬ 形成外科 ⑭ 精神科 ⑮ 神経内科 ⑯ 小児科 ⑰ 皮膚科 ⑱ 産婦人科 ⑲ 耳鼻咽喉科
⑳ 眼科 ㉑ 歯科 ㉒ アレルギー科 ㉓ リハビリテーション科 ㉔ リウマチ科 ㉕ 透析 ㉖ 人間ドック・健診 ㉗ 美容医療 ㉘ 今のままで良い ㉙ 特にない・わからない
㉚ その他(内容を下欄に記載ください)

※注1 総合診療科とは、心臓、肺、胃、関節といった臓器にこだわらずに患者さんのすべての症状に合わせて診療を行う診療科です。身体的な症状だけでなく介護負担等の心理的、社会的な問題にも対応します。

アンケートは全部で4ページです
次の頁もお楽しみします！

-1-

問6 新しい日南病院にはどのような医療サービス・機能を充実してほしいですか(Oは5つまで)

- ① 高度医療や特殊医療を行う専門医療
② 24時間対応の救急医療体制
③ 総合診療医による適切な初期診断
④ 小児医療
⑤ 長期治療に対応した療養型医療
⑥ 急性期を過ぎた回復期のリハビリテーション機能
⑦ がんなどの終末期にある患者の緩和ケア
⑧ 送迎付きの通所リハビリテーション
⑨ 在宅医療・訪問看護・訪問リハビリ
⑩ 自宅や職場から受診できるオンライン診療
⑪ 人間ドックなどの健診機能
⑫ MRI・高性能CTを含めた充実した検査体制
⑬ 透析治療
⑭ 幅広い心配事に気軽に相談できる窓口
⑮ その他(内容を下欄に記載ください)

問7 日南病院が進めようとしている総合診療科の設置において何が重要だと思いますか(Oは5つまで)

- ① 専門科につなげる初期診断
② 何科を受けていいかわからない方のための初期診断
③ 小児科がない日の小児科医療
④ 関節注射など慢性期の整形外科医療
⑤ 終末期でもその人らしい生き方ができる医療サポート
⑥ 家族も含めて支援する往診を中心とした在宅医療
⑦ 100歳体操の会場を中心とした巡回診療
⑧ 地域での講演や予防事業など地域のヘルスケア
⑨ 人間ドックや運動器健診などの総合的なヘルスケア
⑩ その他(内容を下欄に記載ください)

ただいま折り返しです、
残り2ページです！

-2-

今回実施している住民アンケートの質問項目

問8 新しい日南病院で検討している入院病室の全個室化についてお尋ねします(〇は1つ)

- ① 有料でも個室が良い
- ② できれば無料の個室が良い
- ③ 個室が無料でも多床室が良い
- ④ 入院した時の症状や状態による
- ⑤ その他(内容を下欄に記載ください)

問9 新しい日南病院の建設場所として何が重要と感じますか(〇は3つまで)

- ① バスや電車などの公共交通機関が利用しやすい場所
- ② 幹線道路に面している場所
- ③ 冬の除雪が早く、確実な場所
- ④ 自然と接することができ、閑静な場所
- ⑤ 周辺に商業施設や公共施設がある場所
- ⑥ 初めての方でも分かりやすい場所
- ⑦ 駐車場を含め広い敷地でゆったりとした場所
- ⑧ その他(内容を下欄に記載ください)

問10 新しい日南病院とあわせてあるとよいと思う機能は何ですか(〇は3つまで)

- ① 保健・福祉行政機能(現在の健康福祉センター)
- ② 介護サービス事業所(日南福祉会の施設)
- ③ 高齢者の住宅地
- ④ 商業施設
- ⑤ 官公庁施設
- ⑥ 文化施設
- ⑦ その他(内容を下欄に記載ください)

残り1ページになりました。
あともう少しでゴールです!

問11 現在、あなた又はご家族の方は、日南病院を利用されていますか(〇は1つ)

- ① 利用している (①を選んだ方は、通院手段について次の㉔～㉖からお選びください)
㉔バス ㉕自家用車 ㉖タクシー ㉗徒歩 ㉘その他() → 問16へ
- ② 以前は利用していたが、現在は利用していない → 問12へ
- ③ 利用したことがない → 問13へ

問12 現在日南病院を利用されていないのはなぜですか(〇は1つ)

- ① 病気が治った ② 診療料がない ③ 他の医療機関を受診している
- ④ その他(内容を下欄に記載ください)

→ ③他の医療機関を受診を選んだ方は 問14へ、その他の方は 問16へ

問13 日南病院を利用されないのはなぜですか(〇は1つ)

- ① 医療機関に行く必要がない ② 希望する診療料がない
- ③ 他の診療料を受診している ④ その他(内容を下欄に記載ください)

→ ③他の医療機関を受診を選んだ方は 問14へ、その他の方は 問16へ

問14 現在日南病院以外の医療機関を利用されている方にお尋ねします。差し支えなければその医療機関名を教えてください。

受診医療機関名()

問15 なぜその医療機関を選ばれましたか。(あてはまるもの全てに〇)

- ① 勤務先が近いから ② 夜間土・日に受診できるから ③ 待ち時間が短いから
- ④ 予約が出来るから ⑤ 診療内容が良いから ⑥ 希望の診療料があるから
- ⑦ 診てもらいたい医師がいるから ⑧ 交通の便が良いから
- ⑨ 他の医療機関から紹介されたから ⑩ 他人の目が気にならないから
- ⑪ その他(内容を下欄に記載ください)

問16 新しい日南病院についてご希望・ご意見がありましたら下欄に記載ください

ご協力ありがとうございました!
返信用封筒に入れてポストに投函ください!

第2回

日南病院あり方検討委員会

第2章 病院の現状と問題点

令和5(2023)年7月25日(火)17:00～
日南町健康福祉センター 研修室

2-1. 日南病院 新病院基本構想の構成(全体)

○はじめに

第1章 病院を取り巻く医療体制の概況

- 1.地域の概況
- 2.人口(人口の推移、人口構造、人口動態)
- 3.将来人口の予測
- 4.患者の受療動向
- 5.将来患者数の予測

第1回検討事項(R5.6.13)

第2章 病院の現状と問題点

- 1.病院の現状(運営・経営状況、施設・設備状況)
- 2.病院の問題点(運営・経営の問題点、施設・設備の問題点)
- 3.改築の必要性

第2回検討事項(R5.7.25)

●住民アンケートの内容と新病院の規模・機能に関する
イメージの検討

※第3回検討事項(R5.8月予定)

第3章 新病院の規模・機能等

- 1.新病院の役割、新病院の規模・機能
- 2.新病院の診療体制
- 3.事業費概算額

第4回検討事項(R5.10月予定)

●パブリックコメントの内容と、報告書の最終確認

※第5回検討事項(R6.2月予定)

2-1. 日南病院 新病院基本構想の構成(第2章の項目)

○はじめに

第1章 病院を取り巻く医療体制の概況

- 1.地域の概況
- 2.人口(人口の推移、人口構造、人口動態)
- 3.将来人口の予測
- 4.患者の受療動向
- 5.将来患者数の予測

第2章 病院の現状と問題点

- 1.病院の現状(運営・経営状況、施設・設備状況)
- 2.病院の問題点(運営・経営の問題点、施設・設備の問題点)
- 3.改築の必要性

第3章 新病院の規模・機能等

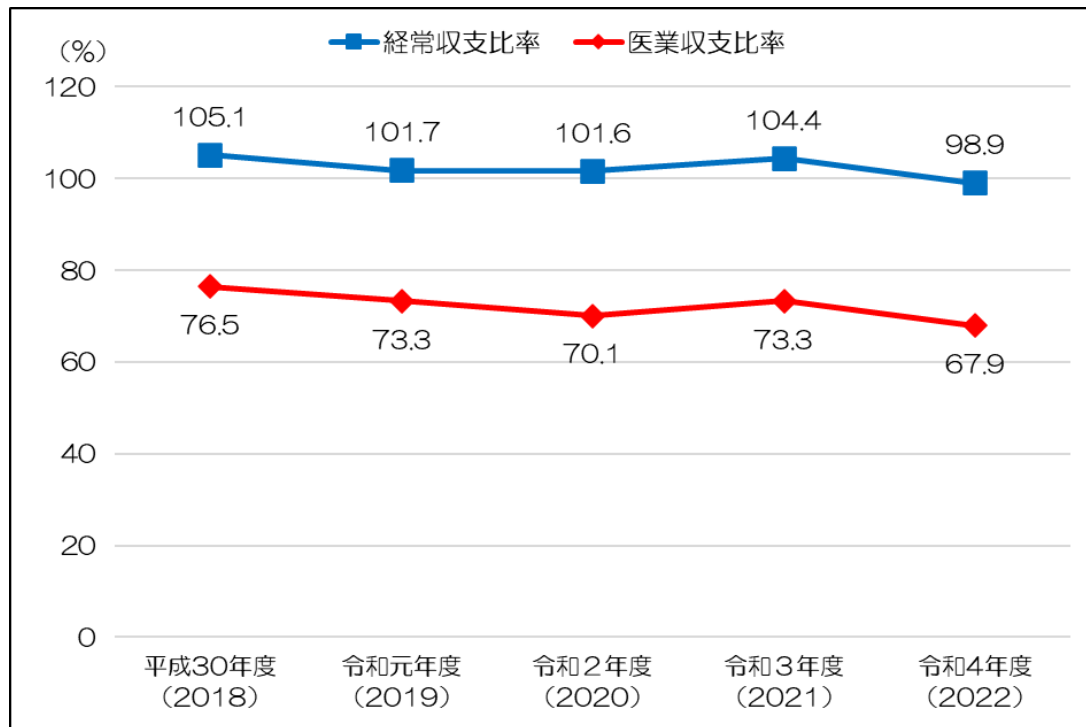
- 1.新病院の役割、新病院の規模・機能
- 2.新病院の診療体制
- 3.事業費概算額

本日の検討項目

2-2. 収益的収支等の推移(経常収支比率・医業収支比率)

医業収支比率の推移を見ると、平成30(2018)年度から令和3(2021)年度まではわずかな低下傾向を示しつつも70%以上を維持していたが、令和4(2022)年度は70%を下回り67.9%となっており、収益の減少、費用の増加共に新型コロナウイルス感染症対応等による影響を強く受けている。

一方で、新型コロナウイルス感染症対策への積極的な取り組みにより、国等からの補助金や町の一般会計からの繰入れが基準に基づきなされたことなどから、経常収支比率については令和4(2022)年度を除き100%以上となっており、また純損益ベースでは平成30(2018)年度以降黒字の経営を維持している。



(単位: 千円・%)

区分	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
経常利益又は経常損失	56,820	19,294	18,490	51,851	▲ 12,930
医業利益又は医業損失	▲ 253,935	▲ 291,930	▲ 337,224	▲ 307,861	▲ 380,120
純利益又は純損失	56,820	19,294	18,490	51,851	11,526
経常収支比率	105.1	101.7	101.6	104.4	98.9
医業収支比率	76.5	73.3	70.1	73.3	67.9

2-3-1. 収益的収支の推移(収益)

総収益の推移を見ると、平成30(2018)年度から令和4(2022)年度まで概ね増加傾向となっている。特に、医業収益において、新型コロナウイルス感染症対応病床確保等のため病床利用率が低下したこと等による収益減に対して、医業外収益では新型コロナウイルス感染症への積極的な対応により、国庫補助金等が増加※1し、総収益が確保されている。令和4(2022)年度の医業外収益は、平成30(2018)年度と比較して62,848千円(18.4%)増加している。

(単位：千円)

	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
総収益	1,166,741	1,143,777	1,178,330	1,238,986	1,234,161
医業収益	825,533	801,441	789,686	844,429	805,648
入院収益	517,829	487,515	492,695	498,425	469,029
外来収益	200,825	200,320	183,479	194,151	203,553
その他医業収益	106,879	113,606	113,512	151,853	133,066
うち、他会計負担金	55,896	61,366	60,409	67,277	72,968
うち、室料差額収益	2,409	2,527	3,723	4,454	4,237
医業外収益	341,208	342,336	388,644	394,557	404,056
受取利息及び配当金	1,512	1,155	1,052	937	1,098
国庫補助金	-	4,914	12,023	37,586	12,405
都道府県補助金	2,498	2,503	35,215	6,716	76,094
補助金	3,886	3,886	6,354	22,527	5,654
他会計負担金	310,950	306,910	304,928	299,819	263,339
長期前受金戻入	14,057	14,072	19,174	17,468	29,174
その他医業外収益	8,305	8,896	9,898	9,504	16,292
特別利益	-	-	-	-	24,457

引用：総務省 公営企業年鑑及び令和4年度は日南町病院事業会計決算書より作成（各年医業外収益の内、各補助金及び他会計負担金については当院決算書より引用）

※1国庫補助金・都道府県補助金・補助金には、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（令和2年度42,389千円、令和3年度52,191千円、令和4年度72,629千円）が含まれる。

2-3-2. 収益的収支の推移(費用)

総費用の推移を見ると、平成30(2018)年度から令和4(2022)年度まで増加傾向にある。特に医業費用における職員給与費が同期間で133,156千円(12.7%)増加していることが主な要因となっている。職員給与費の増加は、医師の増員や若手看護師の計画的な採用に加え、新型コロナウイルス感染症防疫手当の増加などが主な要因となっている。

(単位：千円)

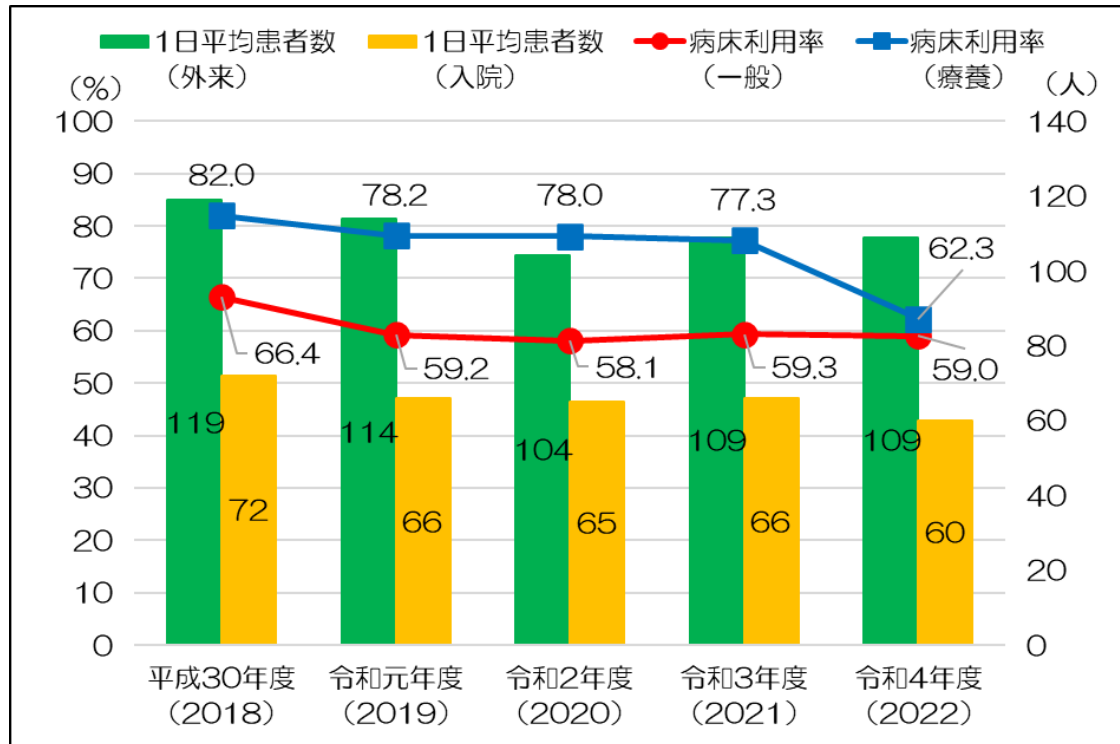
	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
総費用	1,109,921	1,124,483	1,159,840	1,187,135	1,222,634
医業費用	1,079,468	1,093,371	1,126,910	1,152,290	1,185,768
職員給与費	596,463	615,430	682,242	674,828	711,593
材料費	81,496	76,855	69,493	73,665	93,854
減価償却費	81,435	78,059	72,599	100,958	88,661
経費	314,494	318,328	288,184	298,994	286,166
研究研修費	4,350	4,160	2,383	2,793	3,555
資産減耗費	1,230	539	12,009	1,052	1,939
医業外費用	30,453	31,112	32,930	34,845	36,866
支払利息	6,568	5,783	5,158	4,754	4,273
雑損失	-	-	-	-	-
その他医業外費用	23,885	25,329	27,772	30,091	32,593
特別損失	-	-	-	-	-

引用：総務省 公営企業年鑑及び令和4年度は日南町病院事業会計決算書より作成

2-4. 1日当たりの平均患者数と病床利用率の推移

1日当たりの平均患者数の推移を見ると、1日当たりの平均外来患者数は平成30(2018)年度と令和4(2022)年度を比較すると10人(8.4%)減少している。1日当たりの平均入院患者数は同期間で12人(16.7%)減少している。

病床利用率の推移を見ると、一般病床は平成30(2018)年度時点で66.4%だったが、令和元(2019)年度から令和4(2022)年度まで60%未満の低水準で推移している。平成30(2018)年度と令和4(2022)年度を比較すると、7.4ポイント(11.2%)低下している。療養病床は平成30(2018)年度から令和3(2021)年度まで75%以上で推移していたが、令和4(2022)年度は62.3%となっており、同期間で19.7ポイント(24.0%)低下している。

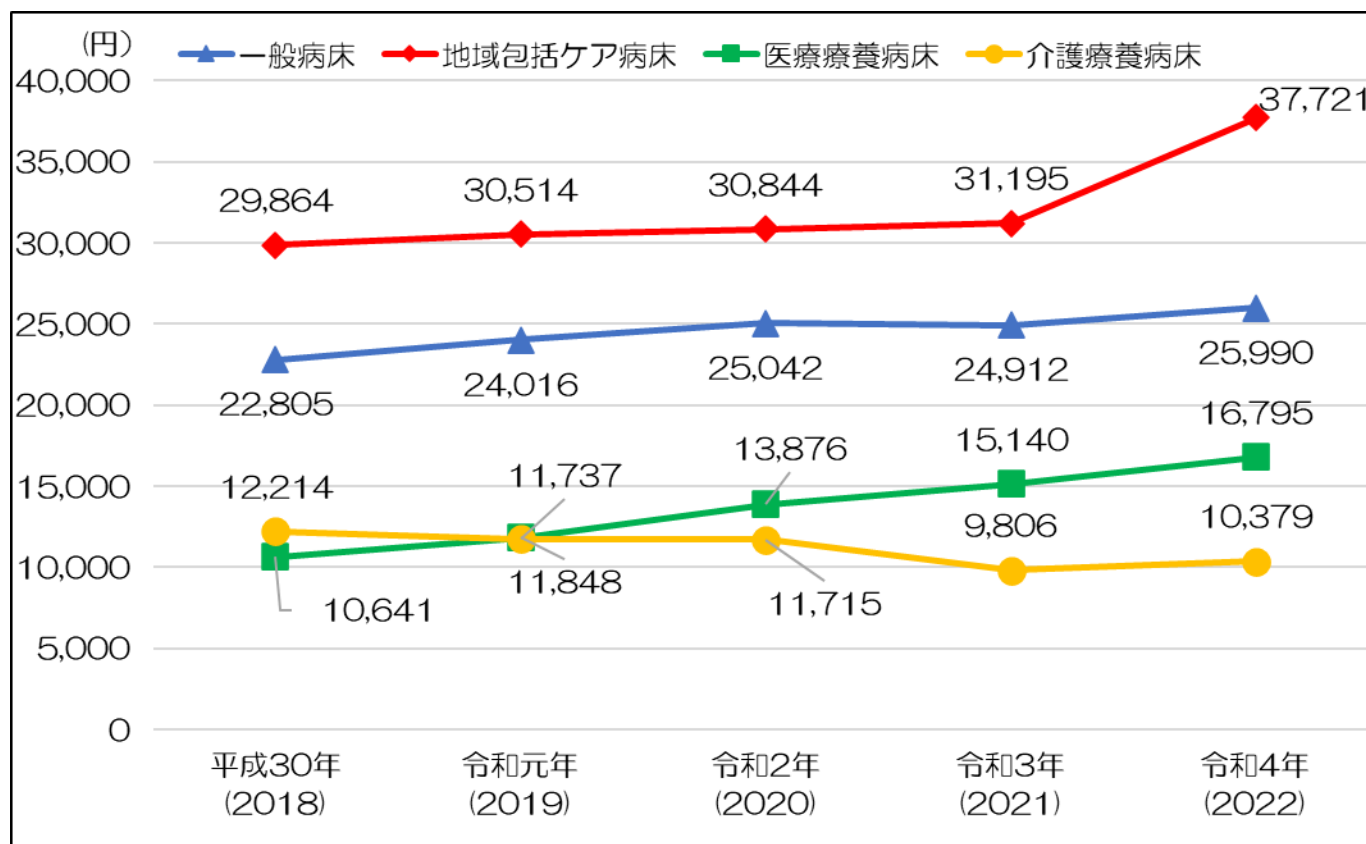


(単位: 人・%)

	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
1日平均患者数 (外来)	119	114	104	109	109
1日平均患者数 (入院)	72	66	65	66	60
病床利用率 (一般)	66.4	59.2	58.1	59.3	59.0
病床利用率 (療養)	82.0	78.2	78.0	77.3	62.3

2-5. 病床種別ごとの診療単価

当院の入院患者の単価を病床種別ごとに推移で見ると、地域包括ケア病床の令和4(2022)年度患者単価は平成30(2018)年度と比較して、7,857円(26.3%)高くなっている。これは、当病床に入院した患者が新型コロナウイルスの陽性者になった費用も含んでいるためである。一般病床は同期間で3,185円(14.0%)、医療療養病床は6,154円(57.8%)高くなっている。一方で、介護療養病床は同期間で1,835円(15.0%)低くなっている。主な要因として、介護報酬の抑制による減収や新型コロナウイルス感染症対応として介護療養病床のショートステイを抑制したことが挙げられる。



引用：当院資料より作成

2-6-1. 同規模類似病院との経営指標の比較(病床数等)

同規模類似病院は、病床数が100床未満で、地域包括ケア病床※2を有するケアミックス病院のうち、看護基準10対1以上、医業収支比率80%以上で比較的経営が良好な自治体立の6病院を選定した。

病床数について、当院と同規模類似病院の平均を比較すると、療養病床の平均は42床で当院とほぼ同規模となっている。また、地域包括ケア病床を一定数有し、回復期を担う病床運営を行っている点も共通している。

※2地域包括ケア病床とは…急性期治療を終えた方、在宅や施設で療養中の方などが一時的に入院し、医療管理・診療・看護・リハビリテーション・退院支援を受けながら、在宅復帰を目指す方、緊急で一時的な入院が必要となる方の病床であり、国が推進する地域包括ケアシステムを支える役割を持っています。

区 分	日南町国民健康保険 日南病院	同規模類似病院 単純平均	平内町国民健康保険 平内中央病院	佐久穂町立 千曲病院	国民健康保険 飛騨市民病院	国民健康保険 智頭病院	町立奥出雲病院	鏡野町 国民健康保険病院
			青 森 県	長 野 県	岐 阜 県	鳥 取 県	島 根 県	岡 山 県
人 口 (人)	4,251	12,527	10,422	10,605	23,028	6,572	11,923	12,610
高 齢 化 率 (%)	52.1	42	48.8	38.6	39.7	43.5	44.4	37.5
病 床 数 合 計 (床)	99	93	96	97	81	99	98	88
一 般 病 床	59	51	48	52	54	52	51	48
(うち、救急告示病床数)	2	5	4	4	3	9	5	4
(うち、地域包括ケア病床)	14	21	33	21	20	14	25	11
療 養 病 床	40	42	48	45	27	47	47	40
看 護 配 置 基 準 (一 般)	10 : 1	-	10 : 1	10 : 1	10 : 1	10 : 1	10 : 1	10 : 1

出典：総務省 令和3年度公営企業年鑑より作成

注：人口・高齢化率は令和4年度全国市町村要覧より引用

2-6-2. 同規模類似病院との経営指標の比較(病床利用率・患者数)

病床利用率を同規模類似病院の平均と比較すると、当院は一般病床の病床利用率が15.3ポイント低くなっている一方で、療養病床は2.4ポイント高くなっている。

一般病床の平均在院日数を見ると、当院は23.8日と平均と比較して8.7日長くなっている。同規模類似病院の平均在院日数は、すべて21.0日以内となっている。

当院の患者数は、平均と比較して1日当たり入院で4人、外来で67人少なくなっている。

区 分		日南町国民健康保険 日南病院	同規模類似病院 単純平均	平内町国民健康保険 平内中央病院	佐久穂町立 千曲病院	国民健康保険 飛騨市民病院	国民健康保険 智頭病院	町立奥出雲病院	鏡野町 国民健康保険病院	
				青 森 県	長 野 県	岐 阜 県	鳥 取 県	島 根 県	岡 山 県	
病 床 利 用 率 (一 般) (%)		59.3	74.6	74.1	78.1	72.7	78.2	72.5	71.8	
病 床 利 用 率 (療 養) (%)		77.3	74.9	75.2	82.0	75.5	84.3	74.4	57.7	
平 均 在 院 日 数 (一 般) (日)		23.8	15.1	9.2	13.8	14.9	17.4	16.9	18.4	
1日平均患者数(人)		入 院	66	70	72	60	80	72	58	
		外 来	109	176	124	181	222	159	142	227
職 員 一 人 当 患 者 数 (人)	医 師	入 院	9.2	9.3	14.1	9.6	11.9	6.2	7.7	6.2
		外 来	10.1	16.7	16.1	16.4	29.5	8.2	10.1	19.6
	看 護 部 門	入 院	1.3	0.9	1.0	1.0	1.1	0.7	0.8	0.8
		外 来	1.4	1.7	1.1	1.6	2.7	0.9	1.1	2.6

2-6-3. 同規模類似病院との経営指標の比較(診療収入)

入院診療単価を同規模類似病院の平均と比較すると、当院は20,713円と8,321円低くなっている。外来診療単価は、平均と比較して7,339円と、1,340円低くなっている。

区 分		日南町国民健康保険 日南病院	同規模類似病院 単純平均	平内町国民健康保険 平内中央病院	佐久穂町立 千曲病院	国民健康保険 飛騨市民病院	国民健康保険 智頭病院	町立奥出雲病院	鏡野町 国民健康保険病院
				青 森 県	長 野 県	岐 阜 県	鳥 取 県	島 根 県	岡 山 県
患者1人1日当たり 診療収入(円)	入院	20,713	29,034	29,908	25,654	28,536	30,418	35,629	24,056
	外来	7,339	8,679	7,988	7,721	8,065	9,102	8,944	10,255
職員1人1日当たり 診療収入(円)	医師	265,660	412,985	550,364	372,069	577,846	263,632	364,522	349,476
	看護部門	37,360	40,384	38,858	37,341	52,972	28,343	38,364	46,423

出典：総務省 令和3年度公営企業年鑑より作成

2-6-4. 同規模類似病院との経営指標の比較(診療収入の内訳)

当院の入院診療単価の内訳を見ると、同規模類似病院の平均と比較して全体的に低い傾向であり、特に入院料が平均と比較して9,111円低くなっている。同規模類似病院の中で、入院料が最も高い智頭病院と比較すると、11,671円の差がある。在院日数の長期化や医療区分による基本料の低さが主な要因となっている。外来診療単価の内訳を見ると、平均と比較して全体的に低い傾向となっている。

区 分		日南町国民健康保険 日南病院	同規模類似病院 単純平均	平内町国民健康保険 平内中央病院	佐久穂町立 千曲病院	国民健康保険 飛騨市民病院	国民健康保険 智頭病院	町立奥出雲病院	鏡野町 国民健康保険病院	
		青 森 県	長 野 県	岐 阜 県	鳥 取 県	島 根 県	岡 山 県			
患者1人1日当たり 診療収入(円)	入 院	20,713	29,034	29,908	25,654	28,536	30,418	35,629	24,056	
	内 訳	投 薬	237	320	179	327	383	225	493	313
		注 射	343	378	133	312	445	360	608	409
		処置・手術	401	806	191	380	1,305	873	1,487	601
		検 査	665	736	358	507	1,487	583	775	707
		放 射 線	299	407	201	261	640	304	507	528
		入 院 料	13,084	22,195	23,767	21,458	21,190	24,755	23,132	18,867
		給 食	1,253	1,771	2,033	1,911	1,920	1,920	1,022	1,821
		そ の 他	4,431	2,420	3,046	499	1,165	1,397	7,605	809
	外 来	7,339	8,679	7,988	7,721	8,065	9,102	8,944	10,255	
	内 訳	投 薬	238	983	10	128	8	842	116	4,794
		注 射	173	480	196	257	357	610	1,181	276
		処置・手術	165	518	134	316	1,349	749	368	191
		検 査	2,332	2,189	2,245	1,838	1,971	2,714	2,865	1,499
		放 射 線	442	753	369	439	973	794	786	1,157
		初 診 料	123	253	362	190	215	201	281	269
再 診 料		2,546	1,179	1,700	638	890	1,107	848	1,892	
そ の 他		1,321	2,325	2,972	3,915	2,302	2,084	2,500	177	

2-6-5. 同規模類似病院との経営指標の比較(職員数)

当院の医師数は、同規模類似病院の平均と比較してほぼ平均であるが、看護師で18人、事務職員で2人下回っており、全体的に職員数が少ない状況にある。

区 分	日南町国民健康保険 日南病院	同規模類似病院 単純平均	平内町国民健康保険 平内中央病院	佐久穂町立 千曲病院	国民健康保険 飛騨市民病院	国民健康保険 智頭病院	町立奥出雲病院	鏡野町 国民健康保険病院	
			青 森 県	長 野 県	岐 阜 県	鳥 取 県	島 根 県	岡 山 県	
職員数 (人)	医 師	5	6	3	4	5	6	8	9
	看 護 師	31	49	41	50	39	47	69	45
	准 看 護 師	5	4	5	4	3	7	2	3
	医 療 技 術 員	25	24	30	26	23	32	20	15
	事 務 職 員	6	8	12	8	6	5	14	4
	そ の 他 職 員	-	4	-	9	-	1	-	2
	全 職 員	72	93	91	101	76	98	113	78

出典：総務省 令和3年度公営企業年鑑より作成

2-6-6. 同規模類似病院との経営指標の比較(収益的収支)

当院の経常収支比率は同規模類似病院の平均と比較して1.4ポイント高いのに対し、医業収支比率は11.7ポイント低く、繰入金等を除いた修正医業収支比率では、13.4ポイント低くなっている。一方で、他会計繰入金対医業収益比率は、平均と比べ20.4ポイント高くなっている。地方交付税を主な原資として、行政の理解の上で繰入れ基準に基づく他会計からの繰り入れを受けられているといえる。

区 分		日南町国民健康保険 日南病院	同規模類似病院 単純平均	平内町国民健康保険 平内中央病院	佐久穂町立 千曲病院	国民健康保険 飛騨市民病院	国民健康保険 智頭病院	町立奥出雲病院	鏡野町 国民健康保険病院
				青 森 県	長 野 県	岐 阜 県	鳥 取 県	島 根 県	岡 山 県
医業収益 に対する 割合 (%)	職 員 給 与 費	79.9	70.8	75.9	77.9	58.5	74.0	75.2	63.1
	薬 品 費	2.9	6.6	3.0	2.8	4.4	3.4	4.2	21.5
	そ の 他 の 材 料 費	5.8	6.3	5.7	5.9	8.1	6.9	6.1	4.9
経 常 収 支 比 率 (%)		103.1	101.7	103.9	100.0	100.8	99.3	106.9	99.3
医 業 収 支 比 率 (%)		73.3	85.0	81.1	85.7	84.4	80.4	84.6	93.6
修 正 医 業 収 支 比 率 (%)		67.4	80.8	75.3	82.8	81.7	79.3	74.3	91.1
他 会 計 繰 入 金 対 医 業 収 益 比 率 (%)		41.7	21.3	28.6	16.9	22.1	22.8	34.0	3.1
病 院 の 立 地 条 件		不採算地区病院 第1種該当	-	不採算地区病院 第2種該当	不採算地区病院 第2種該当	不採算地区病院 第1種該当	不採算地区病院 第1種該当	不採算地区病院 第1種該当	不採算地区病院 第2種該当
他 会 計 繰 入 金 (千円)	総 額	351,851	289,618	325,649	222,514	264,149	316,188	569,209	40,000
	1 床 あ た り	3,554	3,067	3,392	2,294	3,261	3,194	5,808	455
純 利 益 又 は 純 損 失 (千 円)		36,605	32,149	57,340	715	13,626	-7,842	139,133	-10,079
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 又 は 当 年 度 未 処 理 欠 損 金 (千 円)		898,339	-1,055,593	-1,184,118	-432,359	-464,452	-2,988,218	-1,264,819	409

出典：総務省 令和3年度公営企業年鑑より作成

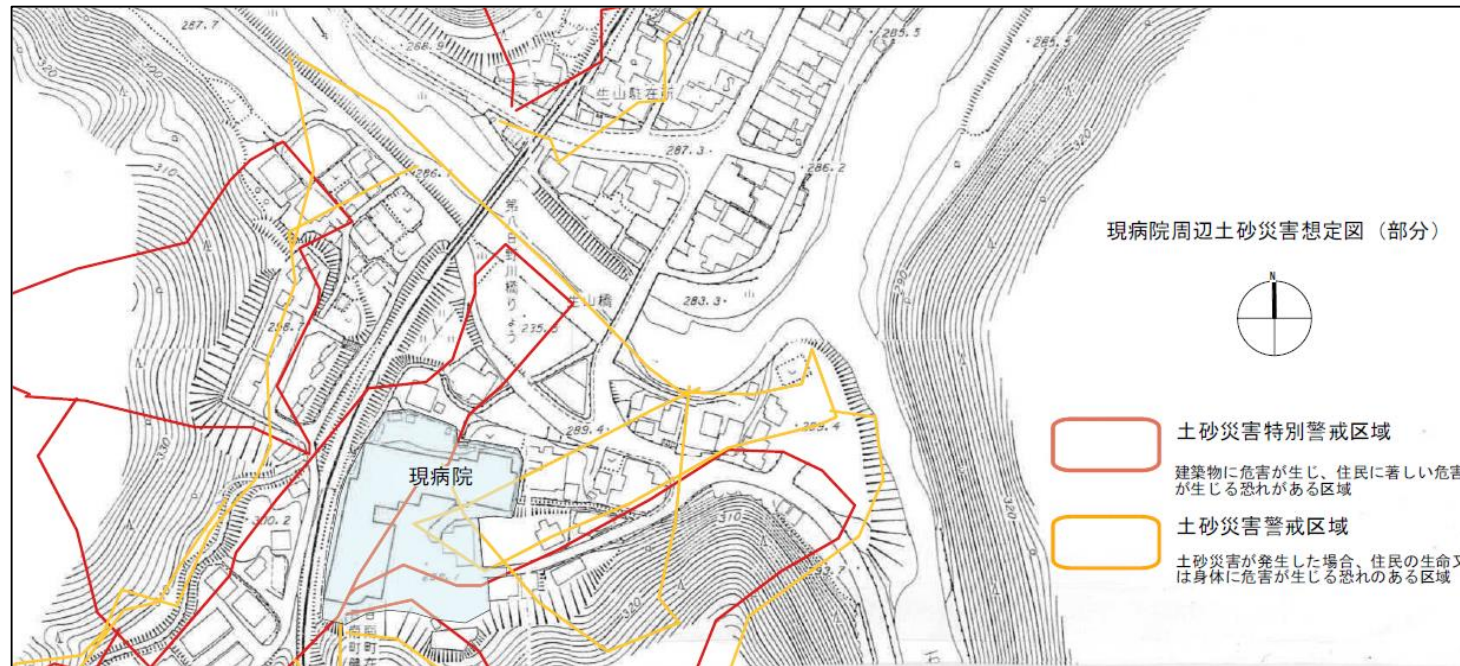
2-7.運営・経営の問題点

- ・医師をはじめ、看護部門、事務部門等スタッフが充分でない。
- ・スタッフの研修等をする機会が少ない。(職員体制及び研究研修予算の問題)
- ・一般病床及び療養病床の病床利用率が低下している(1日あたり平均患者数も減少している)。
※新型コロナウイルス感染症による影響も考えられる。
- ・入院の診療単価の内、特に入院料が同規模病院と比較して低い。(要因は平均在院日数(一般)が長いこと)
- ・急性期・回復期・慢性期病床のベッドコントロールに課題があり、診療単価の改善が進んでいない。
- ・病床利用率が公立病院経営強化ガイドラインの水準70%以下となっている。(過剰病床となっている)

2-8. 敷地の状況

敷地周辺の土砂災害想定図によると、当院の立地する敷地は、谷筋の出口にあたり、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)と土砂災害警戒区域(イエローゾーン)に指定されている。

仮に現地での建替えを計画する場合には、土砂災害特別警戒区域を避けた配置とするか、土砂災害対策を講じた土木工事を施した上での建設工事が必要となるが、狭小敷地での建設は敷地利用の制約等により、防災工事費はもとより建築の仮設費が必要となり、全体の建設費の増加、建設期間の長期化が予想される。



2-9. 建設経緯

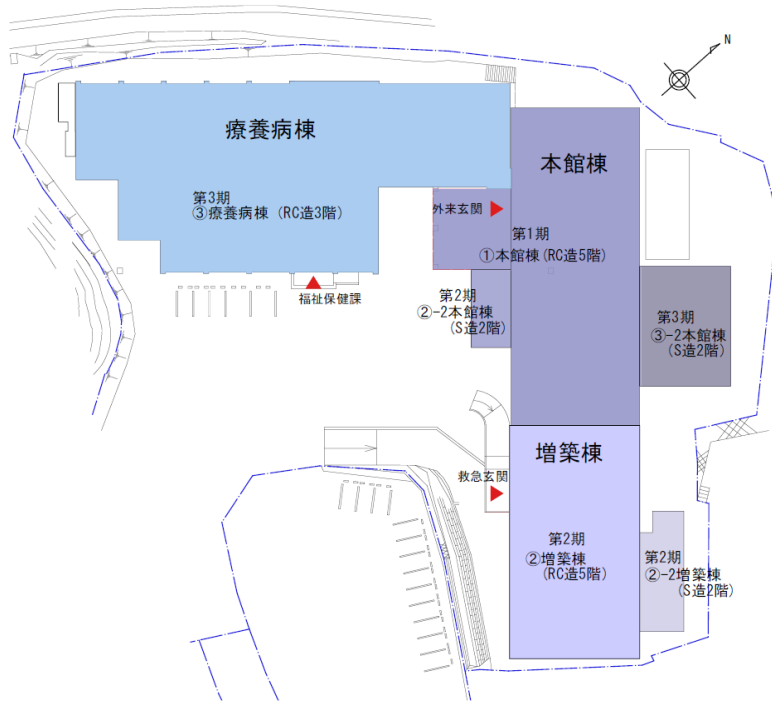
当院全体の主な建築骨格は、3期にわたる整備・建設によって形成されてきた。

第1期:昭和48(1973)年、本館棟が鉄筋コンクリート造5階建て(地下1階、地上4階)で建設される。

なお、建築構造についての新耐震基準が昭和56(1981)年に施行されているが、当院が平成12(2000)年に実施した耐震診断において、耐震補強の必要はないとの結論が出ている。

第2期:昭和62(1987)年、病院敷地を南東部側の傾斜方向に拡張した上で、増築棟を鉄筋コンクリート造5階建てで増築。

第3期:平成11(1999)年に本館の西側に療養病棟が鉄筋コンクリート造地上3階建てで増築。



工 事	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
	昭和				平成						令和				
	45	50	55	60	2	7	12	17	22	27	2	7	12	17	22
第1期 旧本館棟	① 旧本館棟 1973年 RC造 5階														
第2期 旧増築棟	② 旧増築棟 1987年 RC造 5階														
第2期 旧本館増築	②-2 旧本館増築 1997年 S造 2階														
	②-2 旧本館増築 1997年 S造 2階														
第3期 療養病棟	③ 療養病棟 1999年 RC造 5階														
	③-2 旧本館増築 2005年 S造 2階														

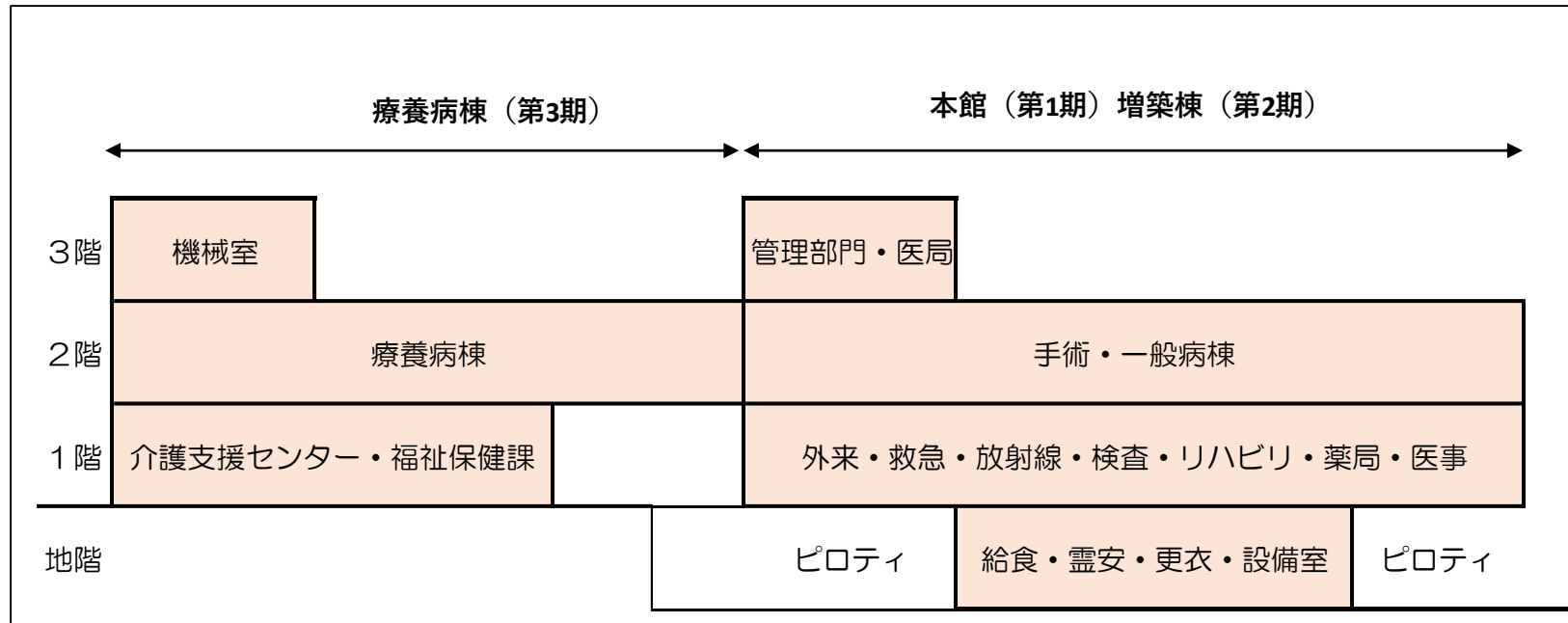
◇ 新耐震基準 昭和56(1981)年施行

※横棒は耐用年数を示す。

※病院の減価償却資産上の耐用年数 RC造(鉄筋コンクリート):39年 S造(鉄筋):29年

2-10. 当院の階構成

本館・療養病棟の階構成・各階施設規模は以下に示す通りである。



現状延床面積

	療養病棟	本館	計
4階		63.38	
3階	162.16	466.67	
2階	療養病棟 1311.85	1831.25	
1階	福祉保健課 998.07	1850.86	
地階		959.05 屋外通路除外	
計	2472.08	5171.21 m ²	7643.294 m ²

※本館1階の屋外通路除外は、ピロティ等は室面積にカウントしていないことを示す。

2-11. 当院の施設の規模

- ・当院の延床面積※1は6645.22㎡(福祉保健課部分を除く)、**病床1床あたりの面積は、67.1㎡/床**である。
- ・近年、**改築する場合の病床1床あたりの面積は80～85㎡**であり、99床の場合床面積は7,920㎡～8,415㎡となる。
→当院の1床あたりの面積は近年の医療施設に求められている規模より狭くなっている。
- ・当院の病棟面積は、本館病棟1702.21㎡と療養病棟1311.85㎡の合計3014.06㎡、**病床1床あたりの面積は、30.4㎡/床**である。
- ・近年、**改築する場合の病棟1床当たりの面積は28～30㎡/床**であり、99床の場合は2,772～2,970㎡となる。
→当院の病棟面積は充足しているが、病棟の食堂や廊下、トイレ等の共用部分に面積比重がある。

以上のことから、

- ・当院の延床面積は近年の施設規模に比べ狭く、病棟面積は同等である。
- ・一方で、増築を繰り返したことで**病棟面積は充足しているが、スタッフの動線が悪く、管理部門・スタッフ部門に十分な面積が確保されていない。**

※1延床面積とは、病院の全体面積を示す。

病院分	療養病棟	本館	本館病棟分	手術・中材・サーバー
4階		63.38		
3階	162.16	466.67		
2階	療養病棟(40床) 1311.85	病棟(59床) 1831.25	1702.21	129.04
1階		1850.86		
地階		959.05		
計	1474.01	5171.21		
		6645.22 ㎡		(67.1 ㎡/床)

本館病棟面積(59床)	1702.21 ㎡	28.9 ㎡/床
療養病棟面積(40床)	1311.85 ㎡	32.8 ㎡/床
本館+療養病棟面積	3014.06 ㎡	30.4 ㎡/床

2-12.施設・設備の問題点

- ・病院機能の主要な部分を占める本館は耐用年数(39年)を大きく経過、また本館増築棟も2026年(R8)に耐用年数経過となり、老朽化が進んでおり早急な建て替えが必要である。
- ・平成11年増築棟(療養病棟)は耐用年数15年(R5現在)を残すが、エレベータ施設はなく、本館からの制御が主体の建物であり、単独での活用には相当額の改修費用を要す。
- ・土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・土砂災害警戒区域(イエローゾーン)への対策をし、災害に強い施設整備を行う必要があるが、その指定範囲から土砂災害特別警戒区域の対策を行いつつ、現地で医療行為を継続しながらの改築計画は、長期間にわたることになる。
- ・階高が低いため、設備配管を収納する天井内には十分なメンテナンススペースが確保されていない。給排水管の水勾配も十分確保することが難しいため、継ぎ手からの漏水も多いことが予想される。
- ・数回にわたる増築の結果、診療部門間での患者の移動距離が長くなり、診療機能に影響がある。
- ・増築のたびに院内動線が長くなり、スタッフが効率的に働く環境が整備されていない。また、延床面積は増えたが、管理部門・スタッフルームが確保されていない。
- ・職員のアメニティが不足しているうえ、施設が古く、若い医療者の雇用確保がしにくい。
- ・空調設備が老朽化しており、病室等の温度調節に不調をきたしている。
- ・個室数が患者ニーズに応えられていない。
- ・診察室のプライバシーが守られていない。

2-13. 整備・改築の必要性

- ・現有施設は耐用年数を超過しており、老朽化への早急な対応が必要である。
- ・高齢化、人口減少を見据え、現状の病床規模・機能を見直す必要がある。
- ・患者さんの療養環境、スタッフの働く環境を整備するために改修又は改築が必要である。
- ・若い医師、看護師、医療従事者の雇用のためにも職場環境を向上する必要が出ている。
- ・感染対策に配慮した病院とする必要がある。
- ・患者のニーズにあった病床やプライバシーの確保された診療環境を整備する必要がある。
- ・安心・安全な医療を提供するために、災害区域への対策が必要だが、病院運営をしながらの現地での改築は、騒音などの患者への療養環境への影響や駐車場の確保にも支障が出るため、費用対効果、安全面から検討しても極めて困難である。

→改築にあたりふさわしい建設立地の要件とは？

2-14-1. 移転先候補対象エリアの選定要件

●救急患者への対応機能の確保

- ・西部広域消防生山出張所から患者搬送をスムーズに受け入れられること。
- ・町外病院への救急搬送等に際し無駄な時間をかけずに済む距離感であること。
- ・活用が増加している救急患者のヘリ搬送拠点である町防災基地への距離が近いこと。

●入院患者等の療養環境の確保

- ・騒音、塵芥飛散など健康上不都合な要素といった周辺環境への配慮が必要であること。
- ・健康回復に必要な散歩などの気分転換といった外部環境への配慮が必要であること。

●外来患者の通院利便性確保(町外患者への対応含む)

- ・町営バス各5路線が乗り換えなく直接病院まで乗り入れられること。
- ・バス、自家用車の交通量を考慮した2車線道路を確保でき、冬季の迅速な除雪対応が可能な幹線道路沿いの立地であること。
- ・十分な駐車場台数を確保できること。
- ・町外の医療圏からのアクセスが良く、わかりやすい場所であること。
- ・通院と合わせて買い物や行政手続き、図書館などのサービスを利用できること。

●施設自体の安全性の確保

- ・土砂災害をはじめ、洪水、地震等の災害を被る可能性を極力避けられる立地であること。

2-14-2. 移転先候補対象エリアの選定要件

●地域包括ケアシステム維持・発展のための環境確保

- ・福祉保健課や日南福社会との連携がしやすい環境であること。

●各種インフラ環境の確保

- ・病院機能を発揮するためのインフラ供給を確保できる環境であること。
(上下水道、電気、ガス・灯油等燃料供給、医療ガス、情報ネットワークなど)

●職員住宅等、勤務利便性の確保

- ・現在の病院職員宿舎利用者、また町内・町外からの通勤職員の通勤の上での利便性が高いこと。